

平成27年度事業報告

I 総括的概要

平成27年度の日本経済は、政策効果などにより、総じて見れば緩やかな回復基調を辿りました。但し、雇用や所得環境の改善は続いておりますが、年度後半以降、アメリカの金融政策の転換や中国を始めとしたアジア新興国等の経済減速、原油価格下落などの影響により、景気は一部に弱さも見られ、輸出が若干弱含んだほか、個人消費及び民間設備投資も概ね横這いで推移するなど、回復に遅れが見られました。

また、千葉県内に目を向けると、大手企業が堅調に収益を改善させている中、中小企業・小規模事業者においては、長期化する人手不足が一層深刻になり、原材料費や電気料金の上昇分はなかなか転嫁できない状況にあるなど、景気回復感を感じることができないのが実態です。

こうした情勢下において、当連合会といたしましては、意義ある提言・要望活動を行い、より効果的、効率的に業務の遂行に努めるとともに、以下の項目を柱とした事業を積極的に推進しました。

1. 県内商工3団体で千葉県知事に対し、「2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を最大限に活用した、地域経済活性化の推進」、「地方創生の中核を担う中小企業・小規模事業者への安定的・継続的な支援強化」、「小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業振興に関する施策の推進」、「TPP（環太平洋パートナーシップ協定）施行に向け、国際競争力の強化等地域経済を支える中小企業・小規模事業者の成長並びに環境の変化に的確に対応し持続的な発展に資する各種支援策の拡充」、「少子高齢化対策の拡充」について要望を行いました。

また、「会頭・副会頭会議」を開催し、千葉県知事に「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた『オール千葉』体制による取組みについて」、「圏央道等の交通インフラの整備促進に伴う千葉県経済の活性化について」、「官公需施策の更なる推進について」、「各市町村における地方創生『総合戦略』の実現に向けた県の取組みについて」ならびに「訪日外国人旅行者の受入環境整備について」の5項目について当日要望を行い、それらを踏まえた要望書を提出致しました。また、事前に商工業の振

興、地域開発・地域振興、交通網の整備等、地域が抱える諸問題に関する要望も行い、回答が示されました。

そのほか、千葉県経済同友会との連名により「第二東京湾岸道路の早期実現に関する要望書」を国土交通省及び県選出国會議員に提出しました。

2. 専門指導センターにおいては「千葉県商工会議所青年部連合会」及び「千葉県商工会議所女性会連合会」の事務局として、広域的事業である青年部・女性会の活動を推進し若手後継者等の育成を図るとともに、中小企業の経営改善を支援するため「広域的講習会事業」「専門分野・業種別相談及び指導」を実施しました。

さらに、現下の厳しい経営環境にある中小企業等の経営改善や復興支援に資するためには、商工会議所職員の更なる能力向上を図る必要があることから、「経営指導員研修（経営一般コース、経営専門コース他）」、「一般職員・補助員合同研修」等を実施しました。特に経営指導員研修（特定課題研究コース）では、地域経済活性化に資するため「地域資源の有効活用による地域の活性化」をテーマに1年間を通して研究を行いました。

3. 調査研究・研修事業については、管理職研修・研究会として、「事務局長研究会」、「中小企業相談所長研究会」、「管理職・中堅職員研修」等を実施しました。

また、商工会議所職員のコンプライアンス意識の醸成、適正な内部統制の構築を目的として、職務階層別の「コンプライアンス研修」を実施しました。指導員の資質向上を目的とした「スキルアップ研修」では、これまで扱ってきたテーマに加えて、「コミュニケーション能力向上」、「問題解決能力向上」、「IT活用による経営力向上」の各セミナーを開催しました。

さらに、県内の景気動向と中小企業等の経営状況を把握し、よりわかりやすく発信するため、県下21商工会議所の協力を得て四半期ごとに「地域経済動向調査」を取りまとめました。

4. 平成26年にテストページを開設しました千葉県ブランド専用サイト「千葉名産ドットコム」を平成27年11月に公開し、地域ブランド品や一押し特産品に関する情報発信を開始しました。
5. 平成27年12月15日、県内全11の地域金融機関と県内21の商工会議所及び商工会議所連合会との間で、地域の事情に精通しているもの同士がそれぞれの持てる力を総動員し、地方創生に向けた取組みを加速させ地域経済の活

性化や発展に資するべく、連携協定を締結しました。更に、平成 28 年 3 月 24 日には、4 月からの「総合戦略」の具体的取組み開始を見据え、「ICT による地方創生セミナー」を、千葉県、県内市町村、県内地域金融機関、県内商工会及び県内商工会議所の参加を得て開催致しました。

Ⅱ 項目別状況

1. 組織

(1) 役員

(平成 28 年 3 月末)

事務所の所在地	〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 13 階		
役員 構成	役名	氏名	所属商工会議所及び役名
	会長	石井俊昭	千葉商工会議所 会長
	副会長	大畑喜信	八街商工会議所 会長
	副会長	古川秀夫	東金商工会議所 会長
	副会長	池森政治	流山商工会議所 会長
	専務理事	木原稔	千葉商工会議所 専務理事
	理事	鈴木克己	木更津商工会議所 会長
	理事	石井邦夫	市川商工会議所 会長
	理事	白鳥豊	習志野商工会議所 会長
	監事	石井良典	佐原商工会議所 会長
監事	柳内光子	浦安商工会議所 会長	

(2) 会員

本会の会員は県内 21 の商工会議所で構成されている。

会議所名	会長名	郵便番号	住所	電話
千葉	石井俊昭	260-0013	千葉市中央区中央 2-5-1	043-227-4101
銚子	宮内智	288-0045	銚子市三軒町 19-4	0479-25-3111
船橋	伊藤賢二	273-8511	船橋市本町 1-10-10	047-432-0211
木更津	鈴木克己	292-0838	木更津市潮浜 1-17-59	0438-37-8700
市川	石井邦夫	272-8522	市川市南八幡 2-21-1	047-377-1011
松戸	中山政明	271-0092	松戸市松戸 1879-1	047-364-3111
佐原	石井良典	287-0003	香取市佐原イ 525-1	0478-54-2244
茂原	秋葉吉秋	297-0026	茂原市茂原 443	0475-22-3361
野田	高梨兵左衛門	278-0035	野田市巾野台 168-1	04-7122-3585
館山	杉井繁樹	294-0047	館山市八幡 821	0470-22-8330
八街	大畑喜信	289-1115	八街市八街ほ 224	043-443-3021
東金	古川秀夫	283-0068	東金市東岩崎 1-5	0475-52-1101
柏	寺嶋哲生	277-0011	柏市東上町 7-18	04-7162-3311
市原	榊原義久	290-0081	市原市五井中央西 1-22-25	0436-22-4305
習志野	白鳥豊	275-0016	習志野市津田沼 4-11-14	047-452-6700
成田	池内富男	286-0033	成田市花崎町 736-62	0476-22-2101
佐倉	鈴木博	285-0811	佐倉市表町 3-3-10	043-486-2331
八千代	上代修二	276-0033	八千代市八千代台南 1-11-6	047-483-1771
浦安	柳内光子	279-0004	浦安市猫実 1-19-36	047-351-3000
君津	秋元秀夫	299-1163	君津市壱師 1-11-10	0439-52-2511
流山	池森政治	270-0164	流山市流山 2-312	04-7158-6111

(3)事務局

(平成 28 年 3 月末)

事務局 構 成	職 名	氏 名	事 務 局 分 掌
	事 務 局 長	梶 村 一 郎	事務局全般
	事 務 局 次 長	笠 井 俊 和	会頭・副会頭会議、観光土産品連盟に関する業務、 観光振興施策に関する業務
	事 務 局 次 長	大 塚 泰 祥	総務・経理全般、役員会議・研修に関する業務
	事 務 局 次 長	北 村 聡	専門指導センター（人事管理委員会、研修事業、 千葉県商工会議所青年部連合会事業）に関する業 務
	副 主 査	落 合 君 江	経理事務、処務事務、観光土産品連盟に関する業 務、観光振興施策に関する業務
	専門経営指導員	大 澤 三 郎	専門指導センター（千葉県商工会議所青年部連合 会事業、専門的な経営内容の相談及び指導）に関 する業務
	専門経営指導員	中 川 有 香	専門指導センター（千葉県商工会議所女性会連合 会事業、小規模事業経営支援事業費補助金、地域 経済動向調査）に関する業務
	主 事	竹 田 かほり	専門指導センター（経営改善普及事業相談、指導 実績報告に関する事務、運営体制調査）、経理事務、 庶務事項、県内商工会議所への連絡調整に関する 業務

2. 庶 務

(1)文書取扱件数

- ① 収受文書 539 件
- ② 発送文書 103 件

(2)受 章・受 賞

- ① 文化の日千葉県功労者表彰 川 和 弘 行 （ 柏 商工会議所）
- ② 平成 27 年度関東経済産業局長表彰は次の方々が表彰された。
 - 商工会議所役員 安 藤 昇 一 （東 金 商工会議所）
 - 荒 巻 眞 一 （野 田 商工会議所）
 - 小 川 戸 周 太 （銚 子 商工会議所）
 - 式 田 秀 穂 （千 葉 商工会議所）
 - 商工会議所議員 株式会社 本郷鉄工 （八 街 商工会議所）
 - 有限会社 メガネ富士 （千 葉 商工会議所）
 - 椎名建設 株式会社 （ 柏 商工会議所）
- ③ 平成 27 年度「千葉のちから」中小企業表彰は次の方々が表彰された。
 - 中小企業表彰 株式会社ティ・エス・シー （木更津 商工会議所）
 - スズキ機工 株式会社 （松 戸 商工会議所）
 - 株式会社 井上美容室 （佐 原 商工会議所）
 - 従 業 員 表 彰 落合 富浩：株式会社 関鉄工所（千 葉 商工会議所）

(3)慶 弔

- ① 弔 事 平成28年1月17日 船橋商工会議所 副会頭 高安 昭 様 逝去

3. 会 議

(1)定時会員総会

- ① 開催年月日 平成 27 年 6 月 24 日 (水)
- ② 開催場所 三井ガーデンホテル千葉 3階「平安・南」
- ③ 出席者 千葉商工会議所ほか 20 商工会議所
- ④ 議 事
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告並びに収支決算承認の件
第 2 号議案 平成 27 年度事業計画 (案) 並びに収支予算 (案) 承認の件
- ⑤ 議事の概要
第 1 号議案から第 2 号議案まで全て原案どおり承認された。
- ⑥ 来賓祝辞
・千葉県商工労働部部長 麻 生 恵 氏
・日本商工会議所 流通・地域振興部長 栗 原 博 氏

(2)理 事 会

第 1 回

- ① 開催年月日 平成 27 年 6 月 3 日 (水)
- ② 開催場所 千葉商工会議所 13 階 「特別会議室」
- ③ 出席者 理事 7 名及び監事 2 名 (理事 1 名欠席)
- ④ 議 事
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告並びに収支決算承認の件
第 2 号議案 平成 27 年度事業計画 (案) 並びに収支予算 (案) 承認の件
第 3 号議案 定時会員総会招集及び提出議案の件
- ⑤ 議事の概要
第 1 号議案から第 3 号議案まで全て原案どおり承認された。

第 2 回

- ① 開催年月日 平成 28 年 3 月 16 日 (水)
- ② 開催場所 千葉商工会議所 13 階 特別会議室
- ③ 出席者 理事 8 名及び監事 1 名 (監事 1 名欠席)
- ④ 議 事
第 1 号議案 平成 27 年度収支決算及び平成 28 年度収支予算の執行に関する件
第 2 号議案 規則・規程類の改正及び一部廃止承認の件
- ⑤ 議事の概要
第 1 号議案及び第 2 号議案は原案どおり承認された。

(3)監事会

- ① 開催年月日 平成 27 年 5 月 27 日 (水)
- ② 開催場所 千葉商工会議所 13 階 「特別会議室」
- ③ 内 容 石井 良典 (佐原商工会議所)、柳内 光子 (浦安商工会議所) 両監事による事業、決算の監査
- ④ 監査の概要
平成 26 年度事業報告並びに収支決算について監査した結果、当年度における運営は適正であり、会計は正確であった旨確認された。

(4)会頭・副会頭会議

- ① 開催年月日 平成 27 年 11 月 19 日 (木)
- ② 開催場所 ホテル ザ・マンハッタン 2 階 「プリマベアラ」
- ③ 出席者 ○千葉県
森田知事、中村知事特別秘書、麻生商工労働部長、
床並地域産業推進・観光担当部長、篠崎商工労働部経済政策課長、他 5 名
○商工会議所 会頭、副会頭、専務理事 計 83 名
- ④ 概 要
当連合会及び商工会議所から、千葉県に対し、事前要望として商工業の振興、地域開発・地域振興、交通網の整備等に関し計 52 項目を要望し、これに対し県からの回答が示された。
また、当日要望として「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた『オール千葉』体制による取組みについて」、「圏央道等の交通インフラの整備促進に伴う千葉県経済の活性化について」、「官公需施策の更なる推進について」、「各市町村における地方創生『総合戦略』の実現に向けた県の取組みについて」及び「訪日外国人旅行者の受入環境整備について」の 5 件の要望を行うとともに、意見交換を行い、それら要望を踏まえた要望書を当連合会会長及び副会長 3 名、計 4 名により知事へ直接手渡した。
なお、要望についての回答内容は、事業報告書末尾 (23 ページ～43 ページ) の「千葉県商工会議所連合会主催：商工会議所会頭・副会頭会議における要望に対する回答」をご参照ください。

(5)専務理事会議

平成 27 年度において専務理事会議を開催し、下記の事項についての協議を行った。

開催 月 日	主 な 議 題	会 場 (出席者)
4 月 15 日 (水)	・「関商連プロジェクトチームメンバーの選定」について ・「専務理事研修会の開催日及び開催候補地」について	千葉商工会議所 (25 名)

5月27日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年度定時会員総会議案」について 第1号議案 平成26年度事業報告並びに収支決算承認の件 第2号議案 平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件 ・「平成27年度第1回理事会議案」について 第1号議案～第2号議案 定時会員総会議案と同議案 第3号議案 定時会員総会招集及び提出議案の件 ・「平成27年度専務理事研修会開催日程」について 	千葉商工会議所 (22名)
7月29日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年度会頭・副会頭会議(県連要望)」について 	千葉商工会議所 (20名)
10月9日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成27年度会頭・副会頭会議当日要望」について ・「県内地銀3行との連携協定」について ・「県連会費改定」について 	千葉商工会議所 (21名)
12月8日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成28年度県連会費改定」について ・「千葉県日韓親善協会への入会」について ・「商工会との連携」について 	千葉商工会議所 (23名)
2月23日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・「関東経済産業局長表彰」について ・「平成28年度事業計画案」について 	千葉商工会議所 (24名)

(6)会頭懇談会

第1回

- ① 開催年月日 平成27年4月3日(金)
- ② 開催場所 習志野商工会議所(習志野市)
- ③ 概要 奏の杜、習志野市 JR津田沼南口土地区画整理組合を視察、訪問。その後意見交換・情報交換を行った。

第2回

- ① 開催年月日 平成27年12月4日(金)
- ② 開催場所 佐原町並み交流館他(香取市)
- ③ 概要 重要伝統的建造物群保存地区を視察、その後意見交換・情報交換等を行った。

4. 事業

(1)意見活動

前記の会頭・副会頭会議による千葉県への要望活動のほか、平成27年12月、当連合会及び千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会の県内商工3団体で、千葉県知事等に対し、また、千葉県商店街振興組合連合会、千葉県商店街連合会を加えた5団体で、県選出国會議員に対して、それぞれ次の件について要望、請願を行った。

【千葉県知事等への要望】

- ① 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を最大限に活用した、地域経済活性化の推進
 - ア. 東京湾アクアラインの恒久的な料金引き下げ実現と圏央道の早期完成及び成田空港へのアクセス強化のための北千葉道路等主要幹線道路網の整備促進
 - イ. 成田空港の更なる機能強化及び利用促進による県内経済の活性化
 - ウ. 県全域での観光振興、地域資源の掘り起こしと海外へのプロモーション強化によるインバ

ウンド客の取り込み

- ② 地方創生の中核を担う中小企業・小規模事業者への安定的・継続的な支援強化
ア. 中小企業・小規模事業者の支援機関の体制整備推進及び経営支援、連携組織化支援のための予算（小規模事業経営支援事業予算及び中小企業連携組織対策事業予算）の拡充
イ. 中小企業・小規模事業者の活動基盤であるまちづくり・社会資本整備の推進
- ③ 小規模企業振興基本法を踏まえた小規模企業振興に関する施策の推進
ア. 小規模企業の事業の持続的発展に資する金融支援等の拡充
イ. 小規模企業振興に関する調査・研究（条例の検討を含む）の推進
- ④ TPP（環太平洋パートナーシップ協定）施行に向け、国際競争力の強化等地域経済を支える中小企業・小規模事業者の成長並びに環境の変化に的確に対応し持続的な発展に資する各種支援策の拡充
- ⑤ 少子高齢化対策の拡充
ア. 地方移住推進に対する各種支援策の拡充
イ. 女性の社会進出のための子育て支援等各種支援策の拡充

【県選出国會議員への要望】

- ① 小規模事業対策（経営改善普及事業）予算、連携組織対策事業予算、商店街振興組合指導事業予算の確保・増額
- ② 経済好循環の原動力である中小企業・小規模事業者の活力強化
- ③ 地方創生の中核を担う中小企業・小規模事業者の活動基盤の強化
- ④ TPP（環太平洋パートナーシップ協定）施行に向け、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の成長に資する総合的な対策
- ⑤ 東日本大震災からの本格復興と福島再生に向けた不断の支援
- ⑥ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のレガシー創出に向けた、地方と中小企業の魅力・技術等の世界への発信
- ⑦ 中小企業の生産性向上や競争力向上の観点から、資本金に基づく中小企業の定義見直しや社会保険料を始めとする公的負担の適正化など中小企業基本法及び中小法人課税等の見直し

また、平成27年10月22日には、当連合会及び千葉県経済同友会との連名により「第二東京湾岸道路の早期実現に関する要望書」を国土交通省及び県選出国會議員に提出した。

(2)調査研究活動

- ① 「地域ブランド創出による地域経済の活性化」への取組
・平成27年11月、地域ブランド専用サイト「千葉名産ドットコム」を開設し、情報発信・PR支援の取り組みを開始した。
- ② 専務理事研修会
・平成27年10月29日、10月30日の2日間、余市商工会議所を訪問し、同商工会議所三浦会頭他4名及び県連木原専務理事他17名の専務理事、2名の事務局員出席のもと、下記の通り同商工会議所の事業活動等について説明を受けるとともに意見交換を実施した。
ア. 余市商工会議所事業概要及びマッサン応援推進協議会の取組と観光振興

NHK 連続テレビ小説「マッサン」による観光振興と地域活性化を推進するため、マッサン応援推進協議会が余市町に設立され、当初より主要メンバーとして参画。同協議会は、26年度予算 1,930 万円、27 年度予算 1,140 万円であり、26 年度の経済効果は約 30 億円と見込まれる。

イ. ワイン産業の振興

ワイン産業振興に取り組み、平成 23 年にワイン特区の認定を受けた。特区認定の目的はワイン産地としてのブランド化、農家レストランや民宿等への参入による農業者の経営多角化、仕込み体験やワイナリー巡りなど、新たな観光メニューの創出。新規就農者の増加や栽培面積の拡大等、効果は出ている。

ウ. その他：余市の大きな課題

- a. 余市町の人口は 2 万人を切り、会員数（547）はピーク時比 3 割減。
- b. 「マッサン」効果で観光入込は増加しているものの、ブームを一過性のものとしないう受入態勢整備事業や宣伝誘客事業にいかに取り組んでいくかが課題。

エ. 質疑応答・意見交換

- a. 野田商工会議所黒川専務理事より工場見学者の街中への誘客策について質問
余市町への観光客はニッカ目当てが大半であり、宿泊の拠点は札幌若しくは小樽であるため、ニッカを中心に据え街中に散在する見どころを結んだ散策コースを策定した。

・市内視察

ア. 「ニッカウキスキー余市蒸留所」視察

イ. 小樽周辺視察

旧日本銀行（金融資料館）、市立文学・美術館、北一ガラス、旧日本郵船等を見学

ウ. にしん御殿小樽貴賓館を視察

③ 事務局長研究会

平成 27 年度において事務局長研究会を 4 回実施した。

月 日	内 容	開催場所 (参加者数)
6 月 4 日 (木)	①中小企業基盤整備機構の共済制度について ②「地域ブランド」サイトについて ③意見交換「商工会議所機能強化計画の総括について」	千葉商工会議所 (29 人)
10 月 6 日 (火)	①地方創生について ②小規模事業経営支援事業費等補助金について	習志野商工会議所 (26 人)
12 月 11 日 (金)	・マネジメント研修	千葉商工会議所 (13 人)
1 月 28 日 (木) ～ 1 月 29 日 (金)	1 月 28 日 (木) ①事業引継ぎ支援センターの事業について ② (公財) 産業雇用安定センターの事業について ③ものづくり補助金について ④意見交換「県連の研修事業について」 1 月 29 日 (金) 事業所視察 (八千代市内)	八千代市内 (18 人)

④ 中小企業相談所長研究会

平成 27 年度において中小企業相談所長研究会を 2 回実施した。

月 日	内 容	開催場所 (参加者数)
12 月 11 日 (金)	・ マネジメント研修	千葉商工会議所 (14 人)
2 月 8 日 (月) ～ 2 月 9 日 (火)	2 月 8 日 (月) ① 中小企業基盤整備機構の共済制度の改正について ② 「ALL JAPAN & TOKYO プロジェクト」について ③ ものづくり補助金について ④ 意見交換「経営発達支援計画について」 2 月 9 日 (火) 事業所視察 (東金市内)	東金商工会議所 (23 人)

(3) 研修事業

① 管理職・中堅職員研修

管理職・中堅職員等を対象にマネジメント能力向上を図る研修を開催した。

月 日	研 修 内 容	開催場所 (参加者数)
11 月 30 日 (月)	・ マネジメント研修 (部下の育成や組織統括等の知識・スキルの醸成)	千葉商工会議所 (12 人)

② 経営指導員研修 (経営一般コース)

経営指導員研修 (経営一般コース) を 5 コース開催し、延 206 人の参加を得た。

コース名	月 日	時間	研 修 内 容	開催場所 (参加者数)
施策関係Ⅰ	6 月 26 日 (金)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ対策の基本と最新動向について ・ よろず支援拠点について ・ 事業承継支援制度について ・ 千葉県経営改善支援センターについて ・ 千葉県復興相談センターについて ・ 千葉県中小企業団体中央会の事業について 	千葉商工会議所 14 階第 2 ホール (38 人)
施策関係Ⅱ	7 月 17 日 (金)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度商工労働部主要施策について ・ 千葉県の商業振興施策について ・ 千葉県の観光施策について ・ 千葉県の観光誘致施策について ・ 千葉県の産業人材施策について ・ ジョブカード制度について 	千葉商工会議所 14 階第 2 ホール (51 人)
金融・税務	7 月 22 日 (水)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度税制改正の概要について ・ 独占禁止法・下請法について ・ 千葉県信用保証協会の施策について ・ 千葉県制度融資について 	千葉商工会議所 14 階第 2 ホール (42 人)
創業・ 経営革新	8 月 3 日 (月)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営革新支援制度について ・ 千葉県信用保証協会の創業支援について ・ 創業・経営革新支援のポイントについて 	千葉商工会議所 14 階第 2 ホール (49 人)

事例研究	10月7日 (水)	5	・「民間視点の地域プロデュース」について ・銚子市地域資源の視察	銚子市内 銚子商工会議所 (26人)
------	--------------	---	-------------------------------------	--------------------------

③ 経営指導員研修（経営専門コース）

平成27年10月13日～14日、11月6日の3日間開催した。

月 日	研 修 内 容	開催場所 (参加者数)
10月13日(火) ～ 10月14日(水)	・経営改善計画作成研修	千葉商工会議所 14階第2ホール (36人)
11月6日 (金)	・企業コンサルティング実務研修	千葉商工会議所 14階第2ホール (31人)

④ 経営指導員研修（特定課題研究コース）

下記の研究テーマにて開催。

研究テーマ	「地域資源の有効活用による地域の活性化について」			
参 加 会 議 所	①船橋商工会議所 ⑤館山商工会議所 ⑨佐倉商工会議所	②市川商工会議所 ⑥市原商工会議所 ⑩八千代商工会議所	③松戸商工会議所 ⑦習志野商工会議所 ⑪浦安商工会議所	④野田商工会議所 ⑧成田商工会議所 ⑫流山商工会議所
開催回数	開催月日	研 究 内 容	開催場所	参加者
第1回	7月27日(月)	地域資源の有効活用による地域活性化戦略	千葉商工会議所	12人
第2回	8月24日(月)	町ぐるみで地域資源を育む神崎町の取組み	神崎町	12人
第3回	9月11日(金)	「石と芸術のまち 金谷」の取組み	富津市	12人
第4回	10月22日(木)	稲毛新発見！再発見！わくわくウォークと歴史・文化を活かしたまちづくり	千葉市稲毛区	11人
第5回	12月2日(水)	地域資源の有効活用のポイント (事例研究の総括)	千葉商工会議所	10人
第6回	2月3日(水)	発表会	千葉商工会議所	10人

⑤ 県外商工会議所視察研修

平成28年3月17日～18日の2日間、下記により県外商工会議所視察研修を実施。

月 日	内 容	参加人数
3月17日 (木) ～ 3月18日 (金)	3月17日(木) ・川崎市の産業観光の取組みについて(川崎商工会議所) ・川崎市内事業所視察 ・工場夜景視察 3月18日(金) ・殿町国際戦略拠点 キング スカイフロント視察 ・川崎市内事業所視察	(10人)

⑥ 一般職員・補助員合同研修

一般職員・補助員の資質向上を図るべく合同研修を開催。併せて情報交換会を実施。

月 日	時間	研 修 内 容	開催場所 〈参加人数〉
10月26日 (月)	5	・財務諸表の読み方セミナー	千葉商工会議所 12階研修室A 〈51人〉

⑦ コンプライアンス研修

商工会議所職員のコンプライアンス意識の醸成を図るため、コンプライアンス研修を開催。

月 日	研 修 内 容	開催場所 〈参加者数〉
12月7日(月) 12月14日(月) 12月18日(金)	・商工会議所職員としてのコンプライアンスについて 12月7日 一般職員・補助員 12月14日 一般管理職・経営指導員 12月18日 事務局長・中小企業相談所長	千葉商工会議所 12階研修室 〈40人〉 〈30人〉 〈19人〉

⑧ スキルアップ研修

管理職・中堅職員等を対象にスキルアップを図る研修を開催。

月 日	研 修 内 容	開催場所 〈参加者数〉
10月27日(火)	・コミュニケーションスキルアップセミナー	千葉商工会議所 〈28人〉
11月17日(火)	・問題解決能力向上セミナー	千葉商工会議所 〈39人〉
12月15日(火)	・ITを活用した経営力向上セミナー	千葉商工会議所 〈33人〉

(4) 企業間連携促進事業

「ICTによる地方創生セミナー」を開催

- ① 開催年月日 平成28年3月24日(木)
- ② 開催場所 千葉商工会議所 14階 第一ホール
- ③ 出席者 61人
- ④ 内 容 ア 講演・「千葉県の地方創生総合戦略について」
千葉県商工労働部経済政策課 副参事兼政策室長 佐々木 一也氏
・「クラウドコンピューティングの概要」
特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム
執行役員 花岡 孝義氏
・「ICT街づくりの推進と地方創生」
特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム
執行役員 中村 亨氏

イ 交流会

(5)人事管理委員会

年度中に2回開催した。

開催回数	開催日	内 容	開催場所	出席者数
第1回	5月27日(水)	商工会議所職員スキルアップ試験の実施について	千葉商工会議所	9人
第2回	12月8日(火)	商工会議所職員スキルアップ試験の結果について	千葉商工会議所	11人

(6)商工会議所職員スキルアップ試験

人事管理委員会の決定に基づき、商工会議所職員のスキルアップを目的とした試験を実施した。

① 一般・指導部門筆記コース

実施日時：平成27年11月4日(水) 10時30分～11時30分

場 所：千葉商工会議所 12階 研修室A

受験者数：26人

② 指導専門論文コース

実施日時：平成27年11月4日(水) 14時～16時

場 所：千葉商工会議所 12階 研修室A

受験者数：12人

(7)広域的講習会事業、専門分野・業種別相談及び指導

① 講 習 会

ア 平成27年12月1日(火)

『「海外展開サポートデスク」・「事業承継サポートデスク」を活用しよう!』

会場 千葉商工会議所 参加者13人

イ 平成27年12月8日(火)「マイナンバー 知っておきたい実務対応」

会場 茂原商工会議所 参加者35人

ウ 平成27年12月14日(月)「わかりやすい簿記入門」

会場 市川商工会議所 参加者38人

エ 平成27年1月27日(水)『データでわかる「千葉市」の未来像』

会場 千葉商工会議所 参加者30人

オ 平成28年3月10日(木)

「環境経営～取り組むメリットと、取り組まないデメリット」

会場 松戸商工会議所 参加者22人

② 相談・指導

1社(製本業)に対し、販路開拓、事業承継、新規事業の検討等について相談・指導を実施した。

(8)若手後継者等育成事業

① 青年部連合会事業

ア 名 称

千葉県商工会議所青年部連合会

イ 設 立

平成3年6月24日

ウ 本青年部連合会の目的

千葉県内商工会議所に属する青年部が、それぞれの商工会議所の一組織であることを十分認識しつつ行動することを基本とし、自らの資質向上と青年経済人としての研鑽を積み、相互の連帯、親睦を図りながら、商工会議所事業への協力を通して地域の発展に寄与することを目的とする。

エ 年度末現在の会員数

17 青年部 (1,031 名)

オ 年度末現在の主な役員

会 長	浜 田 智 一
直前会長	杉 浦 正 実
副会長 (総務広報委員長)	小 川 広 太
副会長 (資質向上委員長)	佐久間 稔
副会長 (会員交流委員長)	前 島 鉄 生
副会長 (渉外企画委員長)	井 畑 和 士
監 事	加 藤 雅 紀
監 事	荒 田 聡
監 事	堀 松 義 聡
監 事	滝 川 靖 史
顧 問	登 坂 和 広

カ 本年度の主な事業

開 催 日	事 業 の 名 称	会 場
5月13日 (水)	監事会	千葉商工会議所 (千葉市)
5月20日 (水)	役員会 (第1回)	東京ベイプラザホテル (木更津市)
5月20日 (水)	通常総会	東京ベイプラザホテル (木更津市)
7月28日 (火)	役員会 (第2回)	東金商工会館 (東金市)
7月28日 (火)	日本YEGとの意見交換会	東金商工会館 (東金市)
9月30日 (水)	役員会 (第3回)	ナプシャルズ南柏 (流山市)
9月30日 (水)	講演会 (資質向上委員会事業)	ナプシャルズ南柏 (流山市)
11月24日 (火)	役員会 (第4回)	八千代ゴルフクラブ (八千代市)
11月24日 (火)	ビジネス交流会 (会員交流委員会事業)	八千代ゴルフクラブ (八千代市)
1月30日 (土)	役員会 (第5回)	千葉商工会議所 (千葉市)
1月30日 (土)	第2回輝け!千葉県YEGアワード (渉外企画委員会事業)	千葉商工会議所 (千葉市)
3月22日 (火)	役員会 (第6回)	モリシアホール (習志野市)
3月22日 (火)	臨時総会	モリシアホール (習志野市)

キ その他の会議

2ヵ月に1回、役員会の前に正副直前会長・監事会議を開催した。また、青年部連合会の各

事業実施のため、4つの委員会が随時委員会を開催した。

② 女性会連合会事業

ア 名 称

千葉県商工会議所女性会連合会

イ 設 立

平成元年4月26日

ウ 目 的

千葉県内商工会議所に属する女性会が、自らの資質の向上と相互の連携、親睦を図りながら、商工会議所事業への協力を通して地域社会の発展に貢献するとともに、真の男女共同参画社会の実現を目指すことを目的として事業を行う。

エ 年度末現在の会員数

21 女性会 (1,340 名)

オ 年度末現在の主な役員

会 長	市川商工会議所女性会会長	佐 藤 フジエ
副 会 長	野田商工会議所女性会会長	永 田 和 子
〃	君津商工会議所女性会会長	坂 本 禮 子
〃	千葉商工会議所女性会会長	高 梨 園 子
監 事	八千代商工会議所女性会会長	竹 花 富美子
	船橋商工会議所女性会会長	田 中 久 子

カ 本年度の主な事業

開 催 日	事 業 の 名 称	会 場
4月23日(木)	監事会	千葉商工会議所 14階第2ホールC
4月23日(木)	正副会長会議(第1回)	千葉商工会議所 14階第2ホールC
4月23日(木)	理事会(第1回)	千葉商工会議所 14階第1ホール
5月26日(火)	通常総会	通常総会(木更津大会)
6月10日(水)	Cブロック活動	水郷佐原水生植物園、出島屋
7月29日(水)	正副会長会議(第2回)	千葉商工会議所 14階第2ホールC
7月29日(水)	理事会(第2回)	千葉商工会議所 14階第1ホール
9月3日(木) ～9月4日(金)	Aブロック活動	東北被災区域視察・松島温泉「大観荘」 気仙沼・仙台女性会交流会
9月4日(金)	Bブロック活動	婚活支援セミナー
11月13日(金)	正副会長会議(第3回)	千葉商工会議所 14階第2ホール
11月13日(金)	理事会(第3回)	千葉商工会議所 14階第1ホール
1月14日(木)	新春講演会	ホテルスプリングス幕張
1月14日(木)	賀詞交歓会	ホテルスプリングス幕張
2月25日(木)	正副会長会議(第4回)	千葉商工会議所 14階第2ホールC
2月25日(木)	理事会(第4回)	千葉商工会議所 14階第1ホール

(9)地域活性化事業(婚活支援事業)

- ① 開催年月日 平成 27 年 12 月 5 日 (土)
- ② 開催場所 ホテルスプリングス幕張 (千葉市)
- ④ 参加人数 32 組 (男 32 名、女性 32 名)
- ⑥ 概要 「婚活事前セミナー&Xmas パーティー」

事前セミナー講師：(株)アートセレモニー 代表取締役 佐藤 律子氏
 事前の婚活セミナーでグループワークを実施して、コミュニケーション能力のスキルアップを図った後、パーティー会場にて1対1で男女が行う自己紹介やフリートークの時間を設け、24組のカップルが成立した。

5. 協力後援等事業

(1)後援事業

期日・期間	主催	後援事業名
4月～6月	ちばぎんコンピューターサービス(株)	マイナンバーセミナー
6月1日～3月31日	GTFグレートトウキョウフェスティバル実行委員会	GTF 東京みつけ♪2015
7月17日	特定非営利活動法人ちば経営応援隊	2015年度IPA中小企業情報セキュリティ講習能力養成セミナー(千葉)
7月24日	(一財)千葉県環境財団	エコアクション21普及セミナー
7月29日	(株)千葉銀行	第6回ちばぎんアグリ商談会
7月30日	(公財)千葉県産業振興センター	平成27年度事業承継セミナー
8月3日～8月8日	第9回 ICCEES(国際東欧・中欧研究協議会)世界大会組織委員会	第9回国際東欧・中欧研究協議会世界大会
9月11日	国立大学法人 千葉大学	千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2015
9月12日	千葉デザイン協会	第65回記念千葉デザイン展2015
9月16日	NPO法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	ASPICクラウドフォーラム2015
9月23日	エコメッセ in ちば実行委員会	エコメッセ2015in ちば
10月4日	日本珠算連盟千葉県連合会	第15回千葉県珠算競技大会
10月6日	NPO法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム	ASPICクラウドアワード2015
10月6日	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所	平成27年度情報モラル啓発セミナー
10月22日	(公財)日本電信電話ユーザ協会 千葉支部	平成27年度電話応対コンクール千葉県大会
10月23日	千葉商工会議所	第18回企業環境セミナー
11月4日	コラボ産学官千葉支部	平成27年しんきん食の商談会
11月6日	千葉県児童生徒・教職員科学作品展実行委員会	平成27年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展

11月14日	(公財)千葉県産業振興センター	平成27年度「CHIBA 創業セミナー」
11月18日	(公財)千葉市産業振興財団	第14回『ベンチャー・カップ CHIBA』
11月28日	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 千葉支部	第13回「千葉県障害者技能競技会」
11月28日	総合技術コンクール実行委員会	千葉県教育委員会・千葉県高等学校工業教育研究会 第32回総合技術コンクール
12月1日	(公財)千葉県産業振興センター	平成27年度「BCP(事業継続計画)&経営革新セミナー」
12月5日	千葉県環境生活部	ちば県民活動フェスティバル2015
12月21日	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター	地域課題解決ビジネス普及フォーラム in 千葉「人を幸せに・地域を元気にするコミュニティビジネス」
2月4日	ちばの「食」産業連絡協議会	食と農の連携シンポジウム
2月27日	NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター	はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2015
3月7日	株式会社千葉銀行	TPP セミナー
3月10日	(株)日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)	第21回千葉元気印企業大賞
平成27年度	ちばの「食」産業連絡協議会	「食のちばの逸品を発掘2016」
平成27年度	(一社)日本産業カウンセラー協会 東関東支部	産業カウンセラーによる「千葉無料カウンセリング」
平成27年度	日本赤十字社千葉県支部	平成27年度法人社資募集

(2)協力事業

期日・期間	主催	協力事業名
8月22日	(株)千葉日報社	第22回千葉県実業団対抗ゴルフ選手権大会
11月20日	千葉県商工労働部経営支援課	経営革新企業交流会ちば2015

(3)協賛事業

期日・期間	主催	協賛事業名
10月11日～ 10月20日	(公社)千葉県防犯協会 千葉県警察本部	平成27年「千葉県安全で安心なまちづくり旬間」における地域安全運動

6. その他の参加、出席した主な行事・会議等

【オリンピック・パラリンピック関連】

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議 専門部会(外国人受入体制部会)
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化(講演会)
- ・「中小企業世界発信プロジェクト」説明会～オリンピック・パラリンピックでビジネスチャンス拡大～

【雇用】

- ・千葉地方最低賃金審議会、精密機械器具製造業関係最低賃金専門部会、特定最低賃金合同専門部会
- ・千葉県職業能力開発協会理事会、通常総会
- ・千葉高年齢者就労促進連絡会議
- ・離職者等再就職訓練事業等の実施に係る委託先選定審査委員会
- ・千葉県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会・千葉職業能力開発短期大学校部会
- ・若年技能者人材育成支援等事業に係る連携会議
- ・千葉県男女共同参画推進連携会議産業部会、全体会、講演会・ワークショップ
- ・千葉県若者自立支援ネットワーク協議会
- ・認定NPO法人千葉県就労支援事業者機構理事会、通常総会、千葉県協力雇用主研修会、「千葉県新規登録協力雇用主研修会」及び「協力雇用主雇用事例研究会」
- ・千葉県地域職業訓練協議会及び千葉県地域ジョブ・カード運営本部会議
- ・千葉労働局新卒者就職・採用応援本部会議
- ・工業系高校人材育成コンソーシアム千葉総会
- ・雇用均等行政推進員会議
- ・雇用支援セミナー
- ・成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業「経営層へのキャリアパスを踏まえた自律的中堅マネジメント人材を育成する実践的教育プログラム」実施委員会

【教育・スポーツ】

- ・千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会、幹事会
- ・千葉大学サイエンスパークセンター事業運営委員会
- ・(公財)千葉県教育振興財団定時評議員会
- ・千葉県初任者研修等実施協議会
- ・千葉県児童生徒・教職員科学作品展審査会
- ・千葉県高等学校定時制通信制総合文化大会
- ・千葉県高等学校就職問題検討会議
- ・ちばアクアラインマラソン実行委員会総会、企画調整委員会

【観光・土産品】

- ・(公社)千葉県観光物産協会通常総会
- ・ちばプロモーション協議会総会、地域部会
- ・全国観光土産品公正取引協議会運営委員会、意見交換会、関東甲信静会長連絡会議、全国大会、事務担当者研修会
- ・全国観光土産品連盟理事会、総会
- ・千葉県優良県産品推奨協議会通常総会、理事会
- ・千葉県観光土産品連盟会員総会、新春経営セミナー及び新年会員交流会、監事会、会長・副会長会議、審査会、
- ・グリーン・ブルーツーリズム研修会
- ・おもてなしの最前線！成田空港で学ぶ！「海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修」
- ・「海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業研修業務」企画提案選考委員会

- ・食品表示基準に係る説明会
- ・食品表示法入門セミナー
- ・製造所固有記号及び機能性表示食品の届出に関する説明会
- ・千葉県観光統計整備事業選考委員会
- ・KITTE 展示会

【環境】

- ・ちば環境再生推進委員会
- ・千葉県環境審議会、企画政策部会

【健康・福祉】

- ・健康ちば地域・職域連携推進協議会
- ・全国健康保険協会千葉支部評議会
- ・日本赤十字千葉県支部評議員会
- ・社会福祉法人千葉県共同募金会評議員会
- ・地域連携による健康・医療ものづくり推進事業「ちばメディカル・オープンラボ運営事業」委託業者選考委員会、「医療機器試作品開発支援プログラム」委託業者選考委員会
- ・千葉県公衆浴場入浴料金等協議会

【交通安全・安全安心まちづくり】

- ・千葉県安全安心まちづくり推進協議会総会、犯罪被害者等に対する支援部会、万引防止対策部会
- ・千葉県安全で安心なまちづくり旬間防犯パトロール隊出動式
- ・千葉県交通安全対策推進委員会常任委員会

【道路・土地・交通】

- ・京葉地区・東葛地区・千葉地区・北総地区・市原地区及び南房地区に係るタクシー事業適正化・活性化協議会
- ・首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議世話人団体連絡会議、世話人会・総会、県民大会、駅頭キャンペーン
- ・東京湾環状道路並びに関連道路建設促進期成同盟通常総会
- ・成田空港活用協議会総会、幹事会、「女子たび」出発式、パークゴルフ大会・北海道との交流会、県内経済活性化ビジネスセミナー～圏央道とつながる成田空港～
- ・北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーション
- ・成田空港第3滑走路建設に関する説明会

【経営・経済】

- ・千葉県経済団体広報協議会幹事会、運営委員会、会員交流会
- ・千葉県地域商業活性化チャレンジ事業審査委員会
- ・小規模事業者経営改善資金審査会
- ・小規模事業者経営支援事業費等補助金事業審査会
- ・小規模事業者経営改善資金推薦団体連絡協議会

- ・千葉県経営品質協議会定例幹事会
- ・コラボ産学官千葉支部理事会、通常総会
- ・(一社)千葉県経済協議会通常総会、臨時総会・講演会、政策委員会、地域活性化・ちばプロモーション施策検討委員会
- ・(一社)千葉県銀行協会監事会、千葉県金融懇談会例会
- ・千葉県信用保証協会理事会
- ・千葉県中小企業再生支援協議会全体会議
- ・千葉県産業復興相談センター全体会議
- ・千葉産業人クラブ記念講演会
- ・ひまわり定期講演会
- ・千葉県中小企業支援ネットワーク会議
- ・ふさの国商い倶楽部総会
- ・千葉政経懇話会、総会、新春懇親会、納涼懇親会
- ・2015 産学官シンポジウム
- ・産官学労金合同シンポジウム(千葉創生と人材育成)
- ・ちば農商工連携促進プロジェクトチーム会議
- ・「ちば起業家応援事業業務委託」に係る委託業者選考委員会
- ・県経済団体等による事務局意見交換会
- ・国勢調査千葉県協力者会議
- ・「改正中小企業地域資源活用促進法」説明会
- ・官公需確保対策地方推進協議会
- ・ちば企業家大賞検討会議、最終選考会
- ・金融機関等連絡会
- ・地域課題解決ビジネス普及フォーラム in 千葉「人を幸せに・地域を元気にするコミュニティビジネス」
- ・「都内アンテナショップ設置モデル事業に係る設営・運営業務」企画提案選考委員会
- ・経営発達支援計画に関する説明会

【国際】

- ・千葉商工会議所国際委員会視察会
- ・千葉インバウンド促進協議会懇親会
- ・外資系企業対日投資促進事業業務委託提案募集に係る選考委員会
- ・(公財)ちば国際コンベンションビューロー評議員会
- ・国際会議等支援制度に係る審査会

【商工会議所・商工会議所連合会・関東商工会議所連合会・関東経済産業局】

- ・関東商工会議所連合会総会、運営研究会、県連連絡会議、観光連絡担当者会議
- ・千葉県商工会議所青年部連合会 定時総会、正副直前会長・監事会、次年度執行部予定者会議、役員選考委員会、講演会、臨時総会、臨時次年度正副直前会長・監事・顧問会議、輝け!千葉県YEGアワード、日本YEGとの意見交換会
- ・千葉県商工会議所女性会連合会 正副会長会議、監事会、理事会、通常総会、ブロック事業、講演

会・賀詞交歓会

- ・全国商工会議所女性会連合会 総務・政策・広報合同委員会 政府との意見交換および事例視察会、理事会・交流会、石川大会（理事会・懇親会・全国大会・記念講演会）
- ・情報セキュリティ対策担当職員研修会
- ・日商労働専門委員会/東商労働委員会委員長・共同委員会・副委員長会議合同会議～最低賃金審議会 商工会議所関係委員との意見交換会～
- ・全国商工会議所観光振興大会2015inしずおか

【商工三団体】

- ・千葉県商工会連合会通常総会、情報交換会
- ・千葉県中小企業団体中央会通常総会
- ・中小企業連携推進県大会
- ・千葉県商工三団体専務理事会議、要望活動
- ・千葉県商工会連合会と千葉県税理士会との連絡協議会
- ・創立 60 周年記念大会及び中小企業団体千葉県新春交流会

【財団】

- ・(公財)千葉県産業振興センター理事会、ちば中小企業元気づくり基金事業評価委員会、「新商品・新技術・特産品開発助成」「成長分野研究開発助成」「高度研究開発助成」、「ちば創業応援助成金」「ビジネスモデル構築・事業化助成」「市場開拓助成」「新事業展開集中サポート事業」、「産業人材支援事業審査委員会」、地域プロデュース事業等審査委員会、ちば農商工連携事業支援基金審査委員会・FOODEX 視察
- ・千葉県プロフェッショナル人材戦略協議会、千葉県プロフェッショナル人材戦略拠点開設記念セミナー
- ・ベンチャークラブちば事業実施委員会、幹事会、ビジネスプラン発表会
- ・千葉県中小企業支援プラットフォーム連絡会議
- ・千葉県よろず支援拠点連携会議
- ・(公財)日本電信電話ユーザ協会 千葉・市原・東金地区協会定期総会

【式典等】

- ・流山商工会議所設立 5 周年記念式典
- ・君津商工会議所創立 20 周年記念式典・祝賀会
- ・君津商工会議所女性会創立20周年記念式典・記念コンサート・祝賀会
- ・千葉商工会議所女性会創立40周年記念式典・祝賀会
- ・千葉デザイン展 2015 授賞式
- ・千葉県地域防災力向上知事表彰 表彰式
- ・千葉のちから中小企業表彰授賞式
- ・第 21 回千葉元気印企業大賞表彰式
- ・(公財)ひまわりベンチャー育成基金助成金交付式
- ・株式会社京葉銀行千葉みなと本部オープニングセレモニー
- ・ホテルスプリングス幕張 25 周年記念式典

- ・木更津市産業・創業支援センター開所記念式典・開設記念セミナー
- ・坂戸誠一氏旭日小綬章受章祝賀会
- ・特定非営利活動法人 ASP・SaaS クラウドコンソーシアム創立 15 周年式典

【千葉県指導監査立会い】

- ・銚子商工会議所
- ・木更津商工会議所
- ・松戸商工会議所
- ・茂原商工会議所
- ・船橋商工会議所
- ・東金商工会議所
- ・習志野商工会議所

【その他】

- ・(株)幕張メッセ定時株主総会、取締役会
- ・千葉県消費者行政審議会
- ・千葉県ロッテマリーンズかもめ会役員会、総会及び会員の集い、激励観戦会
- ・(一社)千葉県産業廃棄物協会理事会、定例総会、行政懇談会
- ・千葉県火災共済協同組合通常総代会
- ・次世代育成支援対策千葉県協議会
- ・千葉元気印企業大賞審査会
- ・(一社)千葉県発明協会 通常総会、理事会
- ・“社会を明るくする運動”千葉県推進委員会
- ・千葉県税理士会定期総会懇親会
- ・一般社団法人千葉県中小企業診断士協会定時社員総会後の情報交流会
- ・トラック輸送における取引環境・労働時間改善千葉県地方協議会
- ・第3次千葉県住生活基本計画策定検討会議
- ・AED等の普及と実施率向上に向けたプロジェクトチーム懇話会
- ・千葉県測量設計業協会第4回県民講座
- ・ちばぎん総合研究所公開講演会
- ・第27回αBANK ビジネスクラブ年次大会記念講演会・交流会
- ・TPP セミナー
- ・「ASPIC クラウドフォーラム 2015」～クラウドが創発するビジネスイノベーション～
- ・情報モラル啓発セミナー
- ・IT 総合フェア 2015in 千葉

【地方創生】

- ・地方創生 ICT カンファレンス 2015in 幕張
- ・千葉県地方創生総合戦略策定懇談会

千葉県商工会議所連合会主催
商工会議所 会頭・副会頭会議における要望に対する回答
平成 27 年 11 月 19 日
千葉県

A 商工業の振興関係

(要望 1) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた役割分担の明確化等について
(千葉県商工会議所連合会)

- (回答) 1 オリンピック・パラリンピックを成功させ、その開催効果を本県の一層の発展につなげていくため、昨年 11 月、石井会長をはじめ、経済、スポーツ、観光、国際交流、行政など様々な分野を代表する方々にお集まりいただき、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議」を立ち上げました。
- 2 今年 3 月には、キャンプ誘致や魅力ある観光地づくりなど 9 つの柱で構成する「千葉県戦略」をとりまとめ、柱ごとに 2020 年に向けて、さらにその先を見据えた取組と、その主な実施主体を明らかにしました。
- 3 また、10 月には、幕張メッセでの競技開催を踏まえ、大会の成功と開催効果の全県への波及を新たな柱とする改訂版を策定したところです。
- 4 今後、競技会場及び周辺の整備、輸送、ボランティアの募集・育成、機運の醸成など幅広い分野について、組織委員会や東京都など関係機関と密接に連携を図りながら、県が推進する取組のロードマップを作成することとしております。
- 5 戦略は、各団体・事業者や県民の皆様と取組の方向性を共有しながら連携・協力していくためのものであり、各団体・事業者等の自主的な取組が不可欠であると考えておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(要望 3) 中小企業の振興に関する支援策の充実について (千葉商工会議所)

- (回答) 1 県では、経営革新制度を活用し、大きな成果を上げた企業について知事表彰を行うとともに、受賞企業によるプレゼンテーション等を内容とする企業交流会を実施しております。
- 2 また、受賞企業に加えて、計画実現に向けて努力している企業の取り組みや成果を紹介する「事例集」を毎年作成・公表しています。
- 3 引き続き、こうした取り組みにより、制度の周知・広報に努め、利用の増加を図ってまいります。

(要望 6) 産業教育における教育環境の整備について (千葉商工会議所)

- (回答) 1 産業教育施設設備の老朽化が進んでいることや、最先端の技術を活用した施設・設備の充実改善を図る新規施設を導入していく必要があることは認識しているところであり、現在、限られた予算の中で教育活動に支障が生じないよう緊急性のあるものから順次整備してい

るところです。

- 2 将来のスペシャリストの育成、地域産業を担う人材の育成、人間性豊かな職業人を育成するため、産業教育施設設備の更新や整備など産業教育の充実に鋭意努力しているところであり、必要な予算の確保に努めてまいりたいと考えています。
- 3 なお、工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、昨年度設立した「工業系人材育成コンソーシアム千葉」の活動により、工業科設置校 8 校と、企業・大学・関係機関との連携を促進し、情報・ノウハウ及び研究成果等の共有を図り、人材育成に努めています。
- 4 国に対しても、産業教育が我が国の産業経済及び国民生活の基盤であることに鑑み、技術進展に応じた各専門分野における技術・技能に対応できるように、行財政の両面からの支援の拡充を要望しているところではあります。
- 5 本県の産業教育審議会は毎年継続して実施しているところではあります。事務局といたしましては、変化の激しい現在の社会情勢をはじめ、企業や学校の情報収集に努め、産業教育の振興が図れるようにしたいと考えています。

(要望 9) 船橋市内の活性化を目的とした「船橋の顔・魅力づくり」に向けた協力要請と支援について(船橋商工会議所)

- (回答) 1 県では、地域商業活性化事業において、商店街の施設整備やにぎわい創出事業、まちづくりのビジョン策定などの取組みに対して支援を行っています。
- 2 地域による主体的な商業活性化に向けた取組みに対して、県としても引き続き支援してくとともに、必要に応じて、国等への協力要請を行ってまいります。

(要望 10) 商店街・個店を対象とした支援策の拡充について (船橋商工会議所)

- (回答) 1 地域商業活性化事業では、商店街が活性化計画を策定するためのコーディネーターを派遣するとともに、一店逸品運動やまちゼミなどソフト面での個店の魅力向上の取組みに対しても支援しています。
- 2 また、産業振興センター内のよろず支援拠点では、専門性を持った経験豊富なスタッフが、個店の売上拡大などの課題に対して、解決策の提示からフォローアップまで支援して いますので、ご利用ください。

(要望 11) ものづくりへの若年者の関心向上と製造業への就労促進について (船橋商工会議所)

- (回答) 1 県立高等学校におけるインターンシップ(職場体験)制度のカリキュラム化(単位付与扱い等)については、平成 20 年 2 月の「県立高等学校における学校外の学修の単位認定に係る指針」(通知)により、校長が単位を認定できるようになっております。
- 2 一方、各学校では、受入れ事業所の開拓に苦慮しております。
この為、県では、昨年度に策定した「第 3 次ちば中小企業元気戦略」に盛り込んだ「中小企業の魅力を教育現場に伝える取組み」に基づき、経済団体の皆様方の御協力を得て、インターンシップの受入等協力いただける企業の情報を収集し、学校等関係機関に情報提供

を行ったところです。

今後とも、さらなる、受入れをしていただける事業所の情報を提供して頂けますよう、よろしくお願ひいたします。

- 3 また、県では「ジョブカフェちば」における若年者に向けた就労支援の中で、県内製造業の魅力を伝えるとともに、高等技術専門校においても、将来のものづくり分野を担う人材育成を目的に、小中高校生を対象に「未来の名工チャレンジ事業」を実施しております。
- 4 今後も引き続き、ものづくりへの若年者の関心向上と製造業への就労促進に努めてまいります。

(要望 14) 地元高校等の工業技術科の学科創設について (木更津商工会議所)

- (回答) 1 県教育委員会でも、「ものづくり」を支える人材の育成は大変重要であると認識しており、平成 24 年 3 月に策定した「県立学校改革推進プラン」において、工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、関係機関との連携を図るコンソーシアムの設置や、学科再構成等を実施し、工業教育の充実を図ることとしています。
- 2 このプランに基づき、平成 25 年度、千葉市南部に位置する千葉工業高校を工業教育の拠点校とし、平成 26 年 8 月には企業・大学・関係機関との連携を一層推進する「工業系人材育成コンソーシアム千葉」を設立しました。更に、ものづくりに携わる優れた人材を育成するため、平成 28 年度に理数工学科を設置いたします。
- 3 今後、郡部を中心に中学校卒業生数の減少も見込まれることから、コンソーシアムによる連携の中で、生徒の工業技術系の学科に対する志願動向や企業の採用ニーズの把握を行うとともに、産業界・地域からの意見等を収集し、引き続き商工労働部の産業人材育成施策等とも連携しながら時代にあった工業教育の在り方について検討してまいります。

(要望 35) 小規模事業経営支援事業費等補助金に係わる補助対象職員の設置数拡充及び交付基準額単価の引き上げについて (柏商工会議所)

- (回答) 1 補助対象職員の設置数は、国が平成 24 年 2 月に実施した「経済センサスー活動調査」の結果を基に算定した地区内の小規模事業者数をベースに、合併した商工会等への加算などを考慮した設置基準に基づき定められています。
- 2 また、補助対象職員の人件費に係る交付基準額は、県の給料表に準じて定められており、県人事委員会勧告を踏まえ改定するなど、適正な確保に努めてきたところです。
- 3 小規模補助金の見直しについては、国の法改正等を踏まえて、小規模事業者への伴走型支援の実施等に対応するため、県としても、今年度「伴走型小規模事業者等支援提案型事業」の新設や実績評価制度の導入など、制度の拡充を図ってきたところであり、今後も、意欲的な取組が補助金に反映されるよう努めてまいります。

(要望 36) マイナンバー制度に係わる事業者への周知徹底について (柏商工会議所)

- (回答) 1 県では、産・学・官・民で構成される千葉県地域 IT 化推進協議会 (事務局: 総合企画部政策企画課) の会員と連携し、事業者を対象としたマイナンバー制度の説明会を開催して

いるところです。

- 2 各種相談については国がコールセンターを設置し対応しているところですが、県においても、引き続き事業者向けの説明会を開催するとともに、市町村や税務署等の関係行政機関と連携し、制度の周知徹底を図ってまいります。

(要望 41) 円滑な事業承継の推進について (習志野商工会議所)

- (回答) 1 本年 7 月 1 日、県内中小企業の事業承継に対する支援を一層強化するため、千葉商工会議所では、2 名の専門家を配置し、事業承継に関する相談・助言から、第三者への事業承継 (M & A) まで、総合的な支援を行う「千葉県事業引継ぎ支援センター」を設置したところです。
- 2 県としては、要望の趣旨も踏まえ、「支援センター」を始め、関係機関と連携して、事業承継に関する更なる支援策を検討してまいります。

(要望 51) 県施工土地地区画整理事業に伴う地元建設業者の活用について (流山商工会議所)

- (回答) 1 つくばエクスプレス沿線の流山市域では、運動公園周辺地区と木地区において、県の土地地区画整理事業を施行しております。
両地区では、幹線道路の整備や宅地造成を進めており、地元建設業者の皆様には、道路工事や造成工事などにおいて、事業進捗に御協力いただいているところです。
- 2 今後は、事業完了に向けた更なるスピードアップを図ることとしており、地元建設業者の皆様への御協力は、ますます必要不可欠になりますので、引き続き事業への御協力を期待しております。

B 地域開発・地域振興関係

(要望 4) 千葉港千葉中央地区の賑わいある水際線の創出の整備促進について (千葉商工会議所)

- (回答) 1 千葉中央地区の整備については、平成 27 年度末に緑地の一部と浮棧橋 1 基の整備完成に向けて進めているところです。
- 2 地区の賑わい創出に向けての船舶の誘致や PR 等については、県市間の連絡会議 (千葉港みなとまちづくり会議) を通じて、密に連携を図ってまいります。

(要望 5) 増加する訪日観光客に対応した消費拡大支援策の充実について (千葉商工会議所)

- (回答) 1 県では、本年度から「訪日観光客商店街おもてなし事業」により、商店街が訪日観光客を迎え入れるための土壌づくりとして、外国語での接客講習会や免税制度活用セミナーなどの取組みに対して支援を行っています。
- 2 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、多くの商店街において、外国人観光客を受け入れる機運が盛り上がっていくとともに、受入体制が整備されるよう、いただいた要望も踏まえて、本事業の充実に向けて検討してまいります。

(要望 13) 「ちばアクアラインマラソン」の定着化について (木更津商工会議所)

- (回答) 1 ちばアクアラインマラソンについては、2014 大会終了後から、多くの皆様から次回開催を期待する声をいただいていることや、地域経済の活性化にも大きな効果が期待できることから、3 回目となる「ちばアクアラインマラソン 2016」を、平成 28 年 10 月 23 日に開催することといたしました。
- 2 継続開催については、首都圏の幹線道路である東京湾アクアラインを通行止めにする事による県民生活や事業活動への影響等を踏まえ、今後、検討してまいりたいと考えています。
- 3 商工会議所におかれましては「ちばアクアラインマラソン 2016」が前回以上に魅力のある大会となるよう、これまで以上の御支援・御協力をお願いいたします。

(要望 15) 木更津港港湾計画に基づく内港の早期整備と高速ジェット船の寄港実現について (木更津商工会議所)

- (回答) 1 平成 22 年に改訂した港湾計画のうち木更津内港地区 (吾妻地区) については、現在、進めている緑地の整備を早期に完成させ、残る旅客船埠頭等の整備につきましても、工事の早期完成に努めてまいります。

(要望 17) 市川航路、市川泊地及び真間川泊地の継続的な浚渫について (市川商工会議所)

- (回答) 1 港湾管理者として千葉県が所有し管理する港湾施設は、不特定多数の方々ができるように整備したものであり、企業等が所有する専用施設はその企業活動に利用されています。
- 2 千葉県の港湾における航路・泊地の浚渫は、公共埠頭を利用する船舶の航行に支障のない水深までは県が実施しますが、その他の箇所は、その浚渫を必要とするものが行うこととしており、企業活動に必要な浚渫は、その企業が行うこととしています。
- 3 市川航路の水深-7.5m、幅 250mへの拡張については、三番瀬の埋立計画が中止になったことに伴い、-7.5m公共岸壁の計画もなくなったこと、拡張による三番瀬の環境への影響が懸念されること等から実施することは困難と考えております。

(要望 22) 県道佐原山田線の電線地中化について (佐原商工会議所)

- (回答) 1 県道佐原山田線の電線地中化については、香取神宮入口交差点から西側 6 百メートル区間が、第 5 期無電柱化推進計画に位置づけられ、これまでに測量・埋設物調査や電線管理者との構造的な協議などを実施してきたところです。
- 2 今年度は、香取市及び地元住民と合意形成を図りながら、実施設計をまとめてまいります。
- 3 今後とも、地元関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

(要望 23) 成田空港・佐原間の二次交通の確保について (佐原商工会議所)

- (回答) 1 本年3月に策定した「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」において、また、現在策定中の千葉県地方創生「総合戦略」においても、成田空港の利便性向上や交通ネットワーク・アクセスの強化を戦略として位置付けています。
- 2 国や交通事業者も、オリンピック開催を契機として、空港アクセス改善に係る様々な検討体制を立ち上げていると聞いています。
- 3 このため、県としては、国や事業者の協議にも積極的に参画して、例えば空港にお越しの方々が利用しやすい駅やバスターミナルのサービス改善等を提案するなどしています。
- 4 なお、本年度は、国の地方創生の交付金を活用して、成田空港と館山、鴨川、銚子を結ぶ3路線で高速バスの実証運行を45日間実施したところであり、佐原駅や水の郷さわら等にも停留所を設置しました。
- 5 今後、実証運行での利用者アンケート調査の結果なども各市町村と共有し、今後の取組に役立てていただきたいと思いますと考えています。

(要望28) 多様な船舶の一時寄港が可能となるような「館山港多目的棧橋」の機能強化について
(館山商工会議所)

- (回答) 1 館山港多目的棧橋につきましては、平成22年4月25日に供用開始し、地元の方々の熱意によって、大型クルーズ船の寄港やイベントなどに盛んに活用されているところです。
- 2 棧橋の機能強化については、現在小型船舶は棧橋中間部にある－3.0m物揚場に接岸できますが、同時係留は1, 2隻に限られていることから、利便性の向上を図るため－3.0m物揚場の増設を予定しております。
これまで基礎調査及び基本設計を実施し、平成27年度は工事实施に向けた詳細設計を行う予定です。
- 3 多目的棧橋のエプロン部拡幅・延伸については、棧橋の利用状況や需要の増加等を勘案しながら、検討してまいりたい。
- 4 今後も地元と協力しながら地域振興に向けた館山港の整備に努めてまいりたい。

(要望30) 警察署の設置、若しくは幹部交番所の昇格について (八街商工会議所)

- (回答) 1 八街市に警察署を設置すること若しくは八街幹部交番の警察署への昇格についての要望ですが、警察署の新設につきましては、管轄区域の面積及び人口に加え、治安情勢、業務運営の効率性等を総合的に判断しているところであります。
しかしながら、現状では、警察署を新設するための必要な署員数の確保が困難であること、更には厳しい財政状況の下、耐震工事をしなければならない警察署が少なからずあることなどを考慮しますと、警察署新設の要望に応えることは困難な状況であります。
- 2 佐倉警察署の管内である八街市については、今後も県下全域の治安情勢を踏まえつつ、移動交番車の効果的な運用や機動捜査隊、交通機動隊等による応援体制を強化するなどして、地域における警察力の維持・強化に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(要望 32) 子ども・子育て支援の充実について（東金商工会議所）

- (回答) 1 県では、社会福祉法人等が私立の認定こども園の創設や増築、増改築などの施設整備を行う場合、国の交付金等を活用し、助成を行っているところです。
なお、この助成については、既存の保育所や幼稚園が認定こども園に移行する場合も対象としております。
- 2 また、既存の保育所や幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行する場合、認可基準について特例を設けており、既存施設の移行促進を図っているところです。

(要望 37) 八幡水路（八幡運河）の護岸改修工事について（市原商工会議所）

- (回答) 1 八幡水路については、損傷が著しく早急に改修が必要な下流部山側（約 600m）の改修工事を行っているところです。
他の部分については、現況調査の結果、現在工事中の箇所には比喩損傷は軽微であり、今すぐ水路としての機能に支障が生じるものではないと考えておりますが、今後とも水路としての機能に支障がでないよう配意してまいります。
- 2 八幡運動公園は、現在工事を行っている箇所の隣接地でもあり、公園を管理する市原市と協議を行い、避難場所でもある公園としての機能に支障が出ないように工事を進めてまいります。

(要望 38) 警察官の増員について（市原商工会議所）

- (回答) 1 本県警察にあつては、平成 13 年度から平成 27 年度までに実質 1,948 人の増員が認められました。
しかしながら、これら増員を得てもなお、本県警察官一人当たりの負担は依然として重く、警察官の絶対数が不足している状況にあり、複雑化、広域化、凶悪化する犯罪や新たな治安課題に適切に対応するためには、警察官の増員が不可欠であります。
引き続き、業務の合理化、効率化に努めるとともに、警察庁に対し、警察官の更なる増員を要求していきたいと考えています。
- 2 なお、県としましては、県下全域の治安情勢を踏まえつつ、移動交番車の効果的な運用や警察官配置の見直し、機動捜査隊、交通機動隊等による応援体制を強化するなどして、地域における警察力の維持・強化に取り組んでいるところであり、今後も市民の皆様の安全安心の確保に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

(要望 43) 成田第 3 滑走路の早期実現について（成田商工会議所）

- (回答) 1 成田空港の機能強化については、本年 7 月に国土交通省 航空局長から、国として成田空港の第 3 滑走路が必要であるとして、地元の協力と四者協議会開催の要請がありました。
また、8 月には、成田空港周辺市町で構成する「成田空港圏自治体連絡協議会」からも機能強化に関する検討の場として四者協議会開催の要請があったところです。
- 2 これらの要請を受け、県は、9 月 17 日に四者協議会を開催し、今後の成田空港の機能強化

と環境共生策について、四者協議会の場で検討していくことを確認いたしました。

- 3 県としても、首都圏空港の機能強化は非常に重要であると認識しており、今後、国、周辺市町、成田国際空港株式会社と協力しながら、成田空港の機能強化と、それに伴う騒音対策など、様々な課題について議論を深め、関係者としてしっかり連携し進めてまいります。

(要望 45) 印旛沼の水質浄化及び関連河川を含めた観光資源として活用するための整備促進について (佐倉商工会議所)

- (回答) 1 印旛沼の水質浄化については、昭和 61 年度以降、6 期にわたる「湖沼水質保全計画」に基づき、下水道整備、高度処理型合併処理浄化槽の普及促進による生活排水対策や、市街地等からの初期降雨による流出水対策として雨水浸透施設の設置などを推進しているところであり、引き続き、関係者と連携し水質浄化に取り組んでまいります。
- 2 また、流域の急激な都市化等に伴う印旛沼の水質悪化に対処するため、県では、平成 13 年 10 月に学識者、水利用者、住民及び行政により構成される印旛沼流域水循環健全化会議を立ち上げました。そして、平成 22 年 1 月には印旛沼流域の水に関するマスタープランとなる「印旛沼流域水循環健全化計画 (長期構想)」を策定し、加えて、各実施主体が行う具体的な取組をまとめた第 1 期 (2009~2015) 行動計画 (案) を合わせて策定しました。
- 今年度は、第 2 期 (2016~2020) 行動計画 (案) を策定中であり、引き続き、印旛沼に係る住民、企業、行政等が協働して、必要な取り組みを実施してまいります。
- 3 印旛沼流域 5 市町では、沼の総合的な利活用を推進し、沼への関心を高め、水質改善や地域防災力の向上等を図ることを目的として、国の支援制度に基づく「印旛沼流域かわまちづくり計画」を作成・申請し、平成 27 年 3 月に登録を受けたところです。河川管理者である県としては、沼の水辺拠点等の基盤工事を実施し、市町が利用施設を設置することとしています。

(要望 46) 県立八千代広域公園の早期整備・供用開始について (八千代商工会議所)

- (回答) 1 県立八千代広域公園は、八千代市の中心を流れる新川の両岸に位置し、「水辺とスポーツ・情報文化とのふれあい」をテーマにした都市公園です。
- 現在、県では、村上側の整備を先行的に進め、駐車場及び園路の一部について供用開始に至っているところです。今年度はトイレ施設の整備に着手しており、引き続き、芝生広場などの園地や施設整備を進め、県民の方々の憩いの場としてご利用いただけるよう鋭意努めてまいります。
- 萱田側については、村上側の進捗状況を見ながら検討してまいります。

(要望 47) 一級河川境川河口への水門及び排水施設設置の実現について (浦安商工会議所)

- (回答) 1 境川については、河口から東水門までの約 3,000 メートル区間で高潮護岸が完成しており、高潮で想定される 潮位の高さは確保されているところです。
- 2 河口部への水門設置の必要性については、将来、既存施設の再整備が必要となった場合の

検討課題と考えております。

- 3 なお、内水対策については、地元市が実施するものと考えておりますが、県としては、技術的な助言などの支援をしております。

(要望 49) 買い物困難者を対象とする事業者への助成について（君津商工会議所）

- (回答) 1 県では、商工団体や商店街が行う、買い物弱者に対する宅配・移動販売事業に必要な車両購入（リース）費などを対象とする補助事業を実施しています。
- 2 また、国では、民間事業者が行う持続可能性の高い買い物弱者支援事業に対して、宅配・移動販売事業に要する経費を補助対象としています。
- 3 なお、県では、地域商業の課題解決に向けたアドバイスができる専門家を派遣する事業も行っています。
- これらの補助制度等を活用して、商工会議所のコーディネートによる効果的な事業に取り組んでいただけるようお願いします。

C 交通網の整備関係

(要望 2) 圏央道等の交通インフラ整備と千葉県経済の活性化について（千葉県商工会議所連合会）

(回答) <圏央道>

- 1 圏央道については、去る 6 月 7 日に神崎・大栄間が開通し、県内区間約 95 k mのうち、約 76 k m、約 8 割が開通しました。
- 大栄・横芝間については、昨年 7 月から本年 8 月にかけて、地権者を対象とした用地補償説明会及び個別相談会を、沿線 15 地区で開催されてきたところであり、現在、全線で用地取得を進めております。また、取得した用地の一部では、昨年 12 月から埋蔵文化財調査を進めております。
- 県としては、一日も早い圏央道の全線開通に向けて、用地取得が円滑に進むよう、国に積極的に協力してまいります。

<北千葉道路>

- 2 印西・成田間 13.5 キロメートルについては、現在、国と分担して整備を進めているところです。
- このうち、県が施行している印西市若萩から成田市北須賀間 4.2 キロメートルについては、平成 28 年度の開通に向け、橋梁工事や道路改良工事などを行っているところです。
- また、国が施行している成田市北須賀から成田市押畑間 5.6 キロメートルについては、平成 30 年度までの開通に向け、工事を全面的に展開しています。
- 残る、成田市押畑から大山間 3.7 キロメートルについては、現在、県において、用地取得を進めるとともに、埋蔵文化財調査や進入路工事などを実施しているところです。
- 引き続き、早期開通に向け、整備を推進してまいります。
- 3 市川・鎌ヶ谷間については、国による調査が実施されており、現在、車線数など道路の基本的な構造の検討を進めるとともに、主要な構造物の位置や形式などを計画するため道路予備設計に着手したところです。

また、県では、環境アセスメントや都市計画の変更の手続きに必要となる、猛禽類の繁殖状況や、その他動植物の生息・生育状況などの調査を進めています。

引き続き、国と協同して積極的に調査を進め、速やかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化するよう取り組んでまいります。

- 4 県としては、一日も早い北千葉道路の全線開通に向け、取り組んでまいります。

<千葉県経済の活性化>

- 5 東京湾アクアラインの通行料金引下げ継続や圏央道等の整備進展等を背景に、平成 26 年観光入込客数は、昭和 35 年の統計開始以来、最高の数値（約 1 億 6,767 万人）となりました。また、本年 6 月に開通した圏央道神崎・大栄間により、北関東と千葉県が直接結ばれたことで、県内各地の人気観光・レジャー施設へのアクセスが向上し、新たな観光需要が喚起されました。県では、北関東において観光プロモーションを行っているところです。
- 6 また、平成 26 年の県内への企業立地件数については 49 件で前年比約 50% 増となったところです。特に北千葉道路などの整備進展により大手企業の進出が千葉ニュータウンで見られ、過去 3 年間で物流施設は約 5 割増加しております。さらに、整備が進んだ主要幹線道路の沿線で大型商業施設の増床や道の駅のオープンなどが相次いでおり、地域の賑わいの創出につながっております。
- 7 今後も、交通インフラの優位性を積極的に PR していきながら、観光誘客や企業誘致を推進していくなど、経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

(要望 7) 銚子連絡道路（八木バイパス）の早期完成と地域高規格道路への格上げについて
（銚子商工会議所）

- (回答) 1 一般国道 126 号八木拡幅については、現道の交通混雑の緩和、事故多発区間の解消を図るため、銚子市三崎町地先から旭市八木地先間において、延長 5.7 キロメートルの整備を進めているところです。
- 2 現在、旭市側 3 キロメートルのバイパス区間について、優先的に進めることとしており、平成 27 年度は本線部の地盤改良工事と残る用地取得を実施することとしております。
- 3 今後とも、地元関係者の協力を得ながら、早期完成が図られるよう努めてまいります。
- 4 また、本区間を含む銚子連絡道路全体として、地域高規格道路の構造要件であるサービス速度概ね時速 60 キロメートルが確保できるように整備を進めてまいります。

(要望 8) 国道 356 号銚子バイパスの早期完成について（銚子商工会議所）

- (回答) 1 一般国道 356 号銚子バイパスについては、銚子市内の交通混雑の緩和を図るため、銚子市大橋町地先から小船木町地先間において、延長 6.3 キロメートルの整備を進めているところであり、これまでに、小船木町地先から芦崎町地先までの 3.3 キロメートル区間について供用しています。
- 2 現在、芦崎町地先から長塚町地先の約 3 キロメートル区間の整備を進めており、平成 27 年度は樋管などの工事と残る用地取得を実施することとしております。
- 3 また、未事業化区間については、現在事業中の区間の進捗状況等を勘案しながら検討する

こととしており、当面は、現況の交通状況を把握するための交通量調査などを実施する予定です。

(要望 12) 東京外環自動車道及び国道 464 号線（北千葉道路）の整備促進について
（船橋商工会議所）

(回答) <東京外かく環状道路>

- 1 埼玉県の上野毛インターチェンジから（仮称）高谷ジャンクション間 15.5 キロメートルについて、平成 29 年度の開通に向け、京葉道路や東関道との接続部や鉄道交差点など、全線にわたって工事が進められています。
- 2 県としては、外環道が一日も早く開通されるよう、地元市等との協力、連携しながら、引き続き、国や高速道路会社に協力してまいります。

<北千葉道路>

- 3 市川・鎌ヶ谷間については、国による調査が実施されており、現在、車線数など道路の基本的な構造の検討を進めるとともに、主要な構造物の位置や形式などを計画するため道路予備設計に着手したところです。

また、県では、環境アセスメントや都市計画の変更の手続きに必要となる、猛禽類の繁殖状況や、その他動植物の生息・生育状況などの調査を進めています。

県としては、引き続き、国と協同して積極的に調査を進め、速やかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化するよう取り組んでまいります。

- 4 県としては、一日も早い北千葉道路の全線開通に向け、取り組んでまいります。

(要望 16) 都市計画道路「草敷潮見線」の整備促進について（木更津商工会議所）

(回答) 1 都市計画道路草敷潮見線は、木更津市の臨海部からかずさアカデミアパークを結ぶ重要な幹線路線として計画されています。このうち県では県道木更津末吉線のバイパスとなる、2 工区の事業を実施しています。

- 2 請西工区は、工区延長約 600 メートルで、市の協力を得ながら設計や測量等の調査を実施中であり、今後、用地買収に着手する予定です。

- 3 また、矢那工区は、工区延長 2700 メートルのうち、現在、西側の約 500 メートルが整備済みとなっています。

残る区間の整備については、関係する事業や周辺の交通状況を勘案しながら検討してまいります。

(要望 18) 主要地方道松戸野田線の歩道拡幅等整備について(松戸商工会議所)

(回答) 1 主要地方道松戸野田線の根本交差点から一般県道松戸停車場線までの約 380 メートル区間は、両側 3 メートルの歩道が整備されています。

- 2 一般県道松戸停車場線から春雨橋までの約 300 メートル区間における歩道拡幅整備については、集合住宅等建物が密集していることから、今後、地元市と調整を図ってまいります。

(要望 19) 国道 464 号北千葉道路の早期整備について (松戸商工会議所)

(要望 42) 一般国道 464 号北千葉道路の早期整備について (成田商工会議所)

(回答) 1 印西・成田間 13.5 キロメートルについては、現在、国と分担して整備を進めているところ
です。

このうち、県が施行している印西市若萩から成田市北須賀間 4.2 キロメートルについては、平成 28 年度の開通に向け、橋梁工事や道路改良工事などを行っているところです。また、国が施行している成田市北須賀から成田市押畑間 5.6 キロメートルについては、平成 30 年度までの開通に向け、工事を全面的に展開しています。

残る、成田市押畑から大山間 3.7 キロメートルについては、現在、県において、用地取得を進めるとともに、埋蔵文化財調査や進入路工事などを実施しているところです。

引き続き、早期開通に向け、整備を推進してまいります。

2 市川・鎌ヶ谷間については、国による調査が実施されており、現在、車線数など道路の基本的な構造の検討を進めるとともに、主要な構造物の位置や形式などを計画するため道路予備設計に着手したところです。

また、県では、環境アセスメントや都市計画の変更の手続きに必要となる、猛禽類の繁殖状況や、その他動植物の生息・生育状況などの調査を進めています。

引き続き、国と協同して積極的に調査を進め、速やかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化するよう取り組んでまいります。

3 県としては、一日も早い北千葉道路の全線開通に向け、取り組んでまいります。

(要望 20) 国道 356 号の整備促進について (佐原商工会議所)

(回答) 1 一般国道 356 号篠原拡幅については、香取市中心部における慢性的な交通混雑の緩和を図るため、県道香取津宮線から県道水戸鉾田佐原線までの延長 1.9 キロメートルにおいて、4 車線化整備を進めているところです。

2 このうち、道の駅「水の郷さわら」に接する 0.6 キロメートルについては、道の駅の整備にあわせて、平成 20 年度に暫定 2 車線で供用したところです。

3 現在、残る区間の用地取得を優先して進めており、用地の取得が完了した箇所より、工事を実施していくこととしております。

4 今後とも、地元関係者の協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

(要望 21) 都市計画道路仁井宿与倉線の整備促進について (佐原商工会議所)

(回答) 1 仁井宿与倉線は、中心市街地の交通混雑の緩和を図るため、国道 51 号と国道 356 号を結ぶ延長約 4.2 キロメートルについて、県及び市で整備を進めており、このうち約 2.8 キロメートルはすでに供用しているところです。

2 残る約 1.4 キロメートルのうち、県道佐原八日市場線と重複する約 0.4 キロメートル区間の整備を県が、残り約 1.0 キロメートル区間の整備を市が、それぞれ実施しております。

3 県の事業区間については、これまでに物件調査を実施しており、昨年度から用地取得を進めているところです。

市の事業区間 1.0 キロメートルのうち、東側の約 0.3 キロメートル区間については、平成 25 年度に県と市で施行協定を締結し、昨年度から両者で工事を実施しております。残る約 0.7 キロメートル区間については、未買収用地の取得に努めると聞いております。

- 4 今後とも、香取市と連携を図りながら、地元関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

(要望 24) 圏央道（松尾横芝 IC～大栄 JCT 間）の早期開通について（茂原商工会議所）

(要望 44) 首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）の早期整備について（成田商工会議所）

- (回答) 1 圏央道については、去る 6 月 7 日に神崎・大栄間が開通し、県内区間約 95 k mのうち、約 76 k m、約 8 割が開通しました。
- 2 大栄・横芝間については、昨年 7 月から本年 8 月にかけて、地権者を対象とした用地補償説明会及び個別相談会を、沿線 15 地区で開催されてきたところであり、現在、全線で用地取得を進めております。また、取得した用地の一部では、昨年 12 月から埋蔵文化財調査を進めております。
 - 3 県としては、一日も早い圏央道の全線開通に向けて、用地取得が円滑に進むよう、国に積極的に協力してまいります。

(要望 25) 国道 16 号千葉柏道路の整備促進について（野田商工会議所）

(要望 33) 国道 16 号バイパスの早期事業化について（柏商工会議所）

- (回答) 1 国道 16 号千葉柏道路は、県北西部の交通円滑化を図り、地域間交流を促進する上で大変重要な道路です。
- 2 これまで、国において、道路の必要性やルート比較の検討がなされ、平成 20 年 7 月に利根川沿いルート案が有効であることが公表されました。
 - 3 現在、国において、整備に向けた課題などについて、検討しているところです。
 - 4 県としては、国道 16 号千葉柏道路の早期具体化に向け、引き続き国へ働きかけてまいります。

(要望 26) 都市高速鉄道東京 8 号線の早期建設及び延伸誘致について（野田商工会議所）

- (回答) 1 都市高速鉄道東京 8 号線は、野田市をはじめとする千葉県北西部地域のみならず、首都圏北東部地域の発展や、通勤・通学等の利便性の向上に極めて重要な役割を果たすものと認識しています。
- 2 国では、運輸政策審議会第 18 号答申が、目標年次を迎えることを受け、現在、交通政策審議会において次期答申についての審議が進められており、今年度中に次期答申が取りまとめられると聞いています。
 - 3 既に、県や政令市等に対し、ヒアリング等が実施されており、県としては、第 18 号答申で位置付けられた区間等を基本に、都心へのアクセス向上を重点に要望したところです。
 - 4 県では、7 月にも国に要望したほか、県や関係市で構成する常磐線輸送力整備・新線建設促進期成同盟においても今後要望活動を実施することとしています。

- 5 今後も、次期答申の策定に向けた国の動向等を注視しながら、地元の皆様と協力していきたいと考えています。

(要望 27) 館山市を中心とした南房総地域観光圏における一層の観光振興推進と交流人口拡大を実現するため、首都圏から当地域へのスムーズで安全、定時性を保ったアクセスを可能とする特別快速及び特急列車の運行について(館山商工会議所)

- (回答) 1 内房線は、沿線の地域住民の日常生活はもとより、「観光立県千葉」の実現に向けて極めて重要な路線であり、これまで実施した観光キャンペーンにおいても大切な役割を担った路線の一つです。
- 2 JR東日本によると、特別快速列車の基本編成(11両)の館山乗り入れについては、ホーム設備の延伸等が必要となるため、列車の増発とともに、今後の利用状況をみて検討すべき課題と考えているとのこと。
 - 3 本年8月26日に行った「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」のJR東日本に対する要望においては、沿線市町村による誘客・地域活性化の取組も紹介しながら、JR東日本に対し協力を要請したところですが、今後とも沿線市町村と連携をとりながら、粘り強く働きかけてまいりたいと考えています。

(要望 29) 南房総地域のポテンシャルを最大限に発揮させる幹線道路の整備について
(館山商工会議所)

(回答) 1 整備促進要望

(館山自動車道の4車線化の早期完成について)

館山自動車道の木更津南ジャンクションから富津竹岡インターチェンジ間については、本年1月から4車線化の工事に着手したところです。現在、高速道路会社では、平成30年度の完成に向け、防護柵の設置や、拡幅部の盛土及び切土工事などを進めており、今後、天羽トンネルの掘削工事に着手する予定と聞いています。

県としては、4車線化工事が円滑に進むよう、沿線市などと組織する事業調整会議を活用し、引き続き、高速道路会社に協力してまいります。

(富津館山道路の4車線化について)

県としては、館山自動車道の4車線化工事が進展していくなかで、富津館山道路の4車線化が早期に具体化されるよう、引き続き、国及び高速道路会社に働きかけてまいります。

(国道127号の整備促進について)

一般国道127号館山バイパスについては、那古から川名地区の約1.4kmにおいて、右折レーンの設置や直進車線の増設などの交差点改良事業が進められ、本年8月に完成したところです。

県としては、残る川名地区から富浦インターチェンジ間についても、引き続き機能強化を図られるよう、国に働きかけてまいります。

- 2 船形バイパスは、南房総の主要な観光拠点とインターチェンジを結び、地域活性化に寄与する重要な幹線道路と認識しており、現在、市と県が共同で整備を進めております。このうち、市整備区間は都市計画道路として、市が昨年度から国の交付金を活用し事業に

着手しています。

また、県整備区間は県道犬掛館山線のバイパス事業として、昨年度に用地測量及び地質調査を実施し、今年度は、用地買収に着手することとしております。

今後とも、市と連携を図りながら、事業の推進に努めてまいります。

- 3 館山・鴨川道路については、交通需要の推移や周辺道路の整備状況等を勘案しながら、防災面も含め緊急性や整備効果の高い区間の検討を進めてまいります。
- 4 東京湾口道路は、房総半島と三浦半島を結ぶ地域高規格道路であり、地域の利便性の向上や経済の活性化などを図る上で、重要な道路であると認識しており、実現に向けた画期的な技術開発など調査について、国に働きかけているところです。また、国が定める国土形成計画において、湾口部、海峡部等を連絡するプロジェクトについては、長期的視点で取り組むとされていることから、その動向を注視してまいります。

(要望 31) 首都圏中央連絡自動車道大栄 JCT～松尾横芝 IC の早期開通及び周辺整備について
(東金商工会議所)

(回答) 1 圏央道については、去る 6 月 7 日に神崎・大栄間が開通し、県内区間約 95k mのうち、約 76k m、約 8 割が開通しました。大栄・横芝間については、昨年 7 月から本年 8 月にかけて、地権者を対象とした用地補償説明会及び個別相談会を、沿線 15 地区で開催されてきたところであり、現在、全線で用地取得を進めております。また、取得した用地の一部では、昨年 12 月から埋蔵文化財調査を進めております。

県としては、一日も早い圏央道の全線開通に向けて、用地取得が円滑に進むよう、国に積極的に協力してまいります。

- 2 圏央道等の整備進展を受け、平成 26 年観光入込客数は、昭和 35 年の統計開始以来、最高の数値(約 1 億 6,767 万人)となりました。
また、本年 6 月に開通した神崎・大栄間により、北関東と千葉県が直接結ばれたことで、県内各地の人気観光・レジャー施設へのアクセスが向上し、新たな観光需要が喚起されました。県では、北関東において千葉県へのプロモーションを行っているところです。
- 3 また、平成 26 年の県内への企業立地件数が前年比約 50%増となり、圏央道を中心に多様な工業団地を売り出しするとともに、さらなる圏央道整備のポテンシャルを活かすために、平成 29 年度分譲予定の茂原にいはる・袖ヶ浦椎の森の両工業団地を建設しています。
さらに、大型商業施設の増床や道の駅のオープンなどが主要幹線道路の沿線で相次いでおり、賑わいの創出につながっています。
- 4 今後も、交通インフラの優位性を積極的に PR していきながら、観光誘客や企業誘致を推進していくなど、経済の活性化につなげてまいりたいと考えています。

(要望 34) 柏都市計画道路「箕輪青葉台線」の整備促進について(柏商工会議所)

(回答) 1 箕輪青葉台線は、柏市南部地域を東西に横断する都市計画道路であり、国道 6 号を補完し、柏市内の交通を分散させ、交通混雑の緩和を図る目的で整備をしております。

- 2 東武野田線の立体交差部を含む増尾台から増尾 7 丁目の約 0.8 キロメートル区間については、平成 25 年 5 月に供用を開始したところです。
- 3 増尾から大津ヶ丘までの約 0.8 キロメートル区間については、平成 25 年度より事業着手したところです。
- 4 増尾 7 丁目から増尾までの約 0.5 キロメートル区間については、現在の事業区間の進捗を勘案しながら、事業化について検討してまいります。
- 5 今後とも、柏市と連携を図りながら、地元関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

(要望 39) 京葉線 内房線の姉ヶ崎駅始発並びに姉ヶ崎駅止まりの新設について(市原商工会議所)

- (回答) 1 現在、国の重要政策として、地方創生が進められている中で、地元商工会議所において、駅周辺の活性化に向けた取り組みが行われていることは、きわめて重要です。
- 2 J R 東日本によると、朝夕の通勤時間帯は、保有している車両を最大限使用して運転しており、要望のありました列車の新設のためには、君津駅始発・止まりの列車の削減が必要であり、現在のところ考えていないとのこと。
 - 3 県では、県と市町村等で構成する「千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟」を通じ、鉄道の利便性向上などについて J R 東日本に対し要望しており、今後、沿線自治体からの要請があれば、対応していきたいと考えています。

(要望 40) 市内を通過する幹線道路の整備促進について(習志野商工会議所)

- (回答) 1 都市計画道路 3・3・3 号藤崎茜浜線については、J R 総武線及び京成電鉄本線との立体交差部を含む 0.6 キロメートル区間において事業を進めており、現在跨線橋工事に必要な工事用進入路の築造を行っているところです。
- 2 都市計画道路 3・3・1 号東習志野実籾線については、京成電鉄本線との交差点に位置する、実籾第 4 号踏切の前後 0.6 キロメートル区間において事業を進めており、本年度末の暫定 2 車線供用に向け道路築造工事等を行っているところです。
 - 3 千葉都市計画道路 3・3・15 号美浜長作町線外 2 線については、長作交差点を含む 0.8 キロメートル区間において事業を進めており、現在、用地取得に努めているところです。
 - 4 主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の実籾交差点については、歩行者の安全を図るため、平成 21 年度から交差点改良事業に着手し、現在、用地取得を進めているところです。
 - 5 今後とも、習志野市と連携を図りながら、地元関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

(要望 48) 都市計画道路 3.1.2 号線(堀江東野線)の整備促進と旧江戸川への橋「堀江橋」(仮称)の設置の早期実現について(浦安商工会議所)

- (回答) 1 浦安市など葛南地域における都県境では、江戸川及び旧江戸川に架かる限られた橋梁に交通が集中することから、新たな架橋の必要性については十分認識しているところです。
- 2 (仮称)堀江橋については、架橋による周辺道路への影響や道路構造などの課題もあるこ

とから、東京都と「道路橋梁整備調整会議」を通じ、検討してまいります。

(要望 50) 都市計画道路 3・3・2 号新川南流山線の早期建設について (流山商工会議所)

- (回答) 1 新川南流山線は、流鉄流山線との立体交差部を含む約 0.6 キロメートルの区間において、県道松戸野田線のバイパスとして整備しております。
- 2 用地買収がほぼ完了したことから、順次、橋梁の下部工事を進めているところです。
- 3 今後とも、流山市と連携を図りながら、地元関係者の協力を得て、事業の推進に努めてまいります。

(要望 52) (仮称) 三郷流山橋の早期建設について (流山商工会議所)

- (回答) 1 (仮称) 三郷流山橋は、市街化の進展が著しい東葛飾地区と埼玉県東部地域を結ぶ幹線道路であり、県北西部の発展や 流山橋の混雑緩和に大きく寄与するものと考えています。
- 2 用地取得状況については、平成 26 年度末時点で、面積ベースで約 3 割となっています。引き続き、地元の御協力を得ながら、早期用地取得に努めるとともに、今年度は、工事着手に向け、関係機関協議や橋梁・道路などの詳細設計を進めてまいります。

D 当日要望

(要望 1) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「オール千葉」体制による取組みについて (千葉県商工会議所連合会)

- (回答) 1 御指摘のとおり、オリンピック・パラリンピックを成功させ、その開催効果の本県の一層の発展につなげていくためには、産学官民が一丸となった「オール千葉」体制で、連携・協力して取り組んでいくことが必要です。
- 10 月には、官民連携組織の「CHIBA 推進会議」において、幕張メッセでのオリンピック 3 競技開催を踏まえ、大会の成功と開催効果の全県への波及を新たな柱とする戦略の改訂版を策定したところです。
- 2 先日の国際パラリンピック委員会理事会において、幕張メッセが、新たにパラリンピックのゴールボール、シッティングバレーボール、車いすフェンシング、テコンドーの 4 競技の競技会場となることが決定いたしました。
- オリンピックに加えてパラリンピックについても県内での競技開催が決まったことを踏まえ、経済団体の皆様とともに、より一層の取組の充実を図ってまいりたいと思っております。
- 3 また、オリンピックの追加競技につきましては、来年 8 月の I O C 総会において正式決定される予定と聞いておりますので、県としても、市町村の意向などを踏まえながら、今後の動きを注視してまいります。
- 4 今後とも、推進会議のもとに設置されている専門部会等を活用しながら、各団体・事業者等の御意見を伺うとともに、それぞれの主体における取組について情報共有や連携を図り、

2020年に向けてしっかりと取組を進めてまいりたいと 考えておりますので、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(要望2) 圏央道等の交通インフラの整備促進に伴う千葉県経済の活性化について
(千葉県商工会議所連合会)

(回答) <圏央道>

- 1 圏央道については、去る6月7日に神崎・大栄間が開通し、県内区間約95kmのうち、約76km、約8割が開通しました。

大栄・横芝間については、昨年7月から本年8月にかけて、地権者を対象とした用地補償説明会及び個別相談会を、沿線15地区で開催されてきたところであり、現在、全線で用地取得を進めております。また、取得した用地の一部では、昨年12月から埋蔵文化財調査を進めております。

県としては、一日も早い圏央道の全線開通に向けて、用地取得が円滑に進むよう、国に積極的に協力してまいります。

<北千葉道路>

- 2 印西・成田間13.5キロメートルについては、現在、国と分担して整備を進めているところです。

このうち、県が施行している印西市若萩から成田市北須賀間4.2キロメートルについては、平成28年度の開通に向け、橋梁工事や道路改良工事などを行っているところです。

また、国が施行している成田市北須賀から成田市押畑間5.6キロメートルについては、平成30年度までの開通に向け、工事を全面的に展開しています。

残る、成田市押畑から大山間3.7キロメートルについては、現在、県において、用地取得を進めるとともに、埋蔵文化財調査や進入路工事などを実施しているところです。

引き続き、早期開通に向け、整備を推進してまいります。

- 3 市川・鎌ヶ谷間については、国による調査が実施されており、現在、車線数など道路の基本的な構造の検討を進めるとともに、主要な構造物の位置や形式などを計画するため道路予備設計に着手したところです。

また、県では、環境アセスメントや都市計画の変更の手続きに必要となる、猛禽類の繁殖状況や、その他動植物の生息・生育状況などの調査を進めています。

県としては、引き続き、国と協同して積極的に調査を進め、速やかに計画を具体化し、できる限り早期に事業化するよう取り組んでまいります。

県としては、一日も早い北千葉道路の全線開通に向け、取り組んでまいります。

<千葉県経済の活性化>

- 4 東京湾アクアラインの通行料金引下げ継続や圏央道等の整備進展等を背景に、平成26年観光入込客数は、昭和35年の統計開始以来、最高の数値(約1億6,767万人)となりました。

また、本年6月に開通した圏央道神崎・大栄間により、北関東と千葉県が直接結ばれたことで、県内各地の人気観光・レジャー施設へのアクセスが向上し、新たな観光需要が喚起されました。県では、北関東において観光プロモーションを行っているところです。

- 5 また、平成26年の県内への企業立地件数については49件で前年比約50%増となったこと

ろです。特に北千葉道路などの整備進展により大手企業の進出が千葉ニュータウンで見られ、過去3年間で物流施設は約5割増加しております。

さらに、整備が進んだ主要幹線道路の沿線で大型商業施設の増床や道の駅のオープンなどが相次いでおり、地域の賑わいの創出につながっております。

- 6 今後も、交通インフラの優位性を積極的にPRしていきながら、観光誘客や企業誘致を推進していくなど、経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

(要望3) 「官公需施策の更なる推進」について(千葉県商工会議所連合会)

- (回答) 1 県では、「中小企業者に対する県の官公需契約の方針」を定め、中小企業者への受注機会の増大に努めているところです。
- 2 この方針に基づき、例えば、地域要件の設定、総合評価方式における「地域精通度」の適切な評価、分離・分割発注の推進などにより、地域の中小企業を適切に評価し、受注機会の増大を図っています。
 - 3 最近の例では、従業員数が多くない中小企業にも配慮し、人材不足による入札辞退を抑制するため、現場代理人が複数の工事を兼任できるよう常駐義務の緩和を図るなど、入札制度の改善を行ったところです。
 - 4 今後も、県関係機関への説明会などを通じて、「県の官公需契約の方針」などの周知徹底を図り、県内中小企業の受注機会の増大に努めてまいります。

(要望4) 各市町村における地方創生「総合戦略」の実現に向けた県の取組みについて
(銚子商工会議所)

- (回答) 1 地方創生に係る県内市町村の取組については、各商工会議所をはじめとする商工団体の皆様方に御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
- 2 県といたしましては、これまでに、人口減少が見られる地域を中心に銚子市を含む40以上の市町村を訪問し、地方創生に係る諸課題について意見交換を行ったほか、市町村の求めに応じて県の職員を総合戦略の検討に参画させるなど、各市町村を支援してきたところです。
 - 3 また、国の平成28年度当初予算の概算要求で来年度の地方創生に係る財政措置の概要が示されましたが、これに対し、努力している条件不利地域や財政力の弱い自治体に配慮することなどを、全国知事会として国に要望したところです。
 - 4 今後とも、国の動向や個々の市町村を取り巻く環境などを注視しながら、地方創生に係る市町村の取組みを適切に支援してまいります。

(要望5) 訪日外国人旅行者の受入環境整備について(成田商工会議所)

- (回答) 1 訪日外国人旅行者が快適に県内を観光するためには、御要望いただいたとおり、多言語表記やピクトグラムを活用などにより、外国人にも分かりやすい情報提供が不可欠であり、また観光案内所における多言語対応、無料公衆無線LAN環境の整備促進といった取組も大変重要であると認識しています。

- 2 そのため、県では、観光のホームページや観光案内板等の多言語表記を進めるとともに、本年 3 月には、わかりやすさに配慮した多言語表記等の基本的方向性を示した「千葉県多言語観光案内板の表記等に関するガイドライン」を策定し、市町村や県内の観光施設、宿泊施設などに送付したところです。
- 3 また、観光案内所等における多言語対応につきましては、現状では少数の案内所にとどまっておりますが、県といたしましては、外国語で観光案内ができる人材の育成に取り組んでいるところであり、こうした人材が観光地のみならず、観光案内所等でも活躍できるよう取り組んでまいりたいと考えて います。
- 4 無料公衆無線 LAN 環境についても、地域が一体となって整備を進める場合のほか、宿泊施設における整備に対しても対象 経費の 3 分の 2 を補助することにより、訪日外国人旅行者が 快適に情報収集や情報発信ができる環境の整備を強力に進めているところです。
- 5 今後とも、これらの取組を市町村や観光関連事業者の皆様とともに推進し、より一層外国人旅行者に喜ばれる観光地づくりを進めてまいります。

E 当日要望書

平成 27 年度千葉県内商工会議所会頭・副会頭会議の開催に当たり、県ご当局におかれては、下記事項について特段のご配慮を賜りたく、ここに要望するものである。

記

- 1 「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた『オール千葉』体制による取組み」について
県では、今後オリンピック・パラリンピック開催に向けたロードマップを作成することとしているが、新たに、野球、サーフィンなど 5 競技 18 種目が追加種目として提案することが決定されたことにより、幕張メッセだけではなく、本県がこれらの競技会場として選ばれる可能性もあるものと期待している。

まさに、首都圏に位置し、成田空港をはじめ多くの魅力を持つ本県の利便性・拠点性などを世界に認識してもらう最大のチャンスである。

このオリンピック・パラリンピックの開催効果を本県の一層の発展につなげ、次世代につなげていくためにも、『オール千葉』体制での取組みが必要である。

我々経済団体としても、『オール千葉』体制でオリンピック・パラリンピックを成功に導くため、一致団結して取り組んでいくので、今後も、関係者や県民などの意見を聴きながら、2020 年に向けて着実に取組みを進めていただきたい。

- 2 「圏央道等の交通インフラの整備促進に伴う千葉県経済の活性化」について

本県には、経済発展のエンジンとして成田空港、圏央道、東京湾アクアラインなどの交通インフラがあり、本県経済の一層の活性化を図るためには、これらの交通インフラを活用して、「人とモノの流れ」を良くすることが大切である。

圏央道は、東京湾アクアラインと一体となって、東日本と西日本を高速ネットワークで結ぶ大変重要な道路である。

また、北千葉道路は、成田空港へのアクセス強化につながる道路であり、これらの道路の一日でも早い全線開通が期待されている。

県ご当局におかれては、是非とも、一日も早い全線開通に向けご尽力をいただきたい。

さらに、これらの交通インフラを活かした戦略的な企業誘致の推進や 魅力ある観光地づくりなどにより千葉県経済の活性化に取り組んでいただきたい。

3 「官公需施策の更なる推進」について

県内企業の 99.8%を占めている中小企業は、県内において雇用の場を提供するとともに、その動向が県内経済や県民生活に与える影響は極めて大きいことから、中小企業の経営基盤の強化を図ることが大変 重要である。

県では、「千葉県中小企業の振興に関する条例」に基づき、中小企業振興に関する基本方針として、現在、「第3次ちば中小企業元気戦略」を平成 26 年 11 月に策定し、中小企業に対する様々な支援策に取り組んでいただいております、その取組の一つとして官公需施策の推進を掲げている。

官公需施策として、行政からの発注が増えることは、中小企業の事業基盤の安定に役立つとともに、ノウハウを得ることにより事業拡大のきっかけにもなることから、官公需施策の更なる推進を図っていただきたい。

4 「各市町村における地方創生『総合戦略』の実現に向けた県の取組み」について

平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、法の規定に基づき、県と同様に各市町村においても、少子高齢化の進展に対応し、人口減少の歯止めと地域経済の活性化を図るとともに、持続可能な地域社会の確立のため、それぞれの地域が、それぞれの特性を生かした取組みを進めるための地方創生「総合戦略」の策定作業を進めているところである。

今後、各市町村が総合戦略を着実に進め、地方創生を図っていくためにも、是非とも、県のご支援、御協力をいただきたい。

5 「訪日外国人旅行者の受入環境整備」について

急増する訪日外国人旅行者を受け入れるに当たっては、その移動・滞在を支えるコミュニケーション基盤を整備することが大変重要である。

県ご当局におかれては、すでに施策を実施し、予算措置をいただいているところではあるが、下記事項について、観光客がより見やすく、また、観光業者がより活用しやすいなど、現場において使い勝手がよく、継続的に利用頻度が高まり、発展性があるよう、ソフト面において、より一層のご対応、ご支援をいただきたい。

以上、県下 21 商工会議所のそれぞれが、地域の総合経済団体として精一杯の努力をさせていただく所存であることをお約束し、一般社団法人千葉県商工会議所連合会として、本要望書を提出するものである。